

検 討 資 料

1. ごみ

(1) 行政区域内人口の将来見込

邑南町（以下「本町」という。）における行政区域内人口は、「一般廃棄物処理実態調査結果」（環境省）に計上している住民基本台帳人口（10/1 現在、外国人を含む）を基本データとした。

一方で、本町における将来人口は、将来ビジョンを示す総合計画に示されている。加えて、厚生労働省に所属する国立の研究機関である国立社会保障人口問題研究所（以下「人口問題研究所」という。）において、国勢調査結果による人口動態（出生・死亡、人口移動）を基に、コーホート要因法により、全国市町村における将来人口を示している。

本検討では、住民基本台帳人口の近年の実績値を反映した推計値（トレンド法）と総合計画等並びに人口問題研究所による推計値を鑑み、適正なごみ処理において妥当となる推計値を採用するものとした。

1) 総合計画における将来人口

本町の総合計画における将来人口は、図表 1-1 のとおりである。なお、本町では平成 27 年に人口ビジョンを策定しており、令和 4 2 年（2060 年）において 10,000 人としている。

◆図表 1-1 総合計画における将来人口

町別	目標年度・将来人口	計画名等	策定年月
邑南町	2025 年 10,500 人	邑南町第2次総合振興計画 (平成28年度～令和7年度)	H28.3
	2060 年 10,000 人	邑南町人口ビジョン	H27.10

2) 人口問題研究所による将来人口

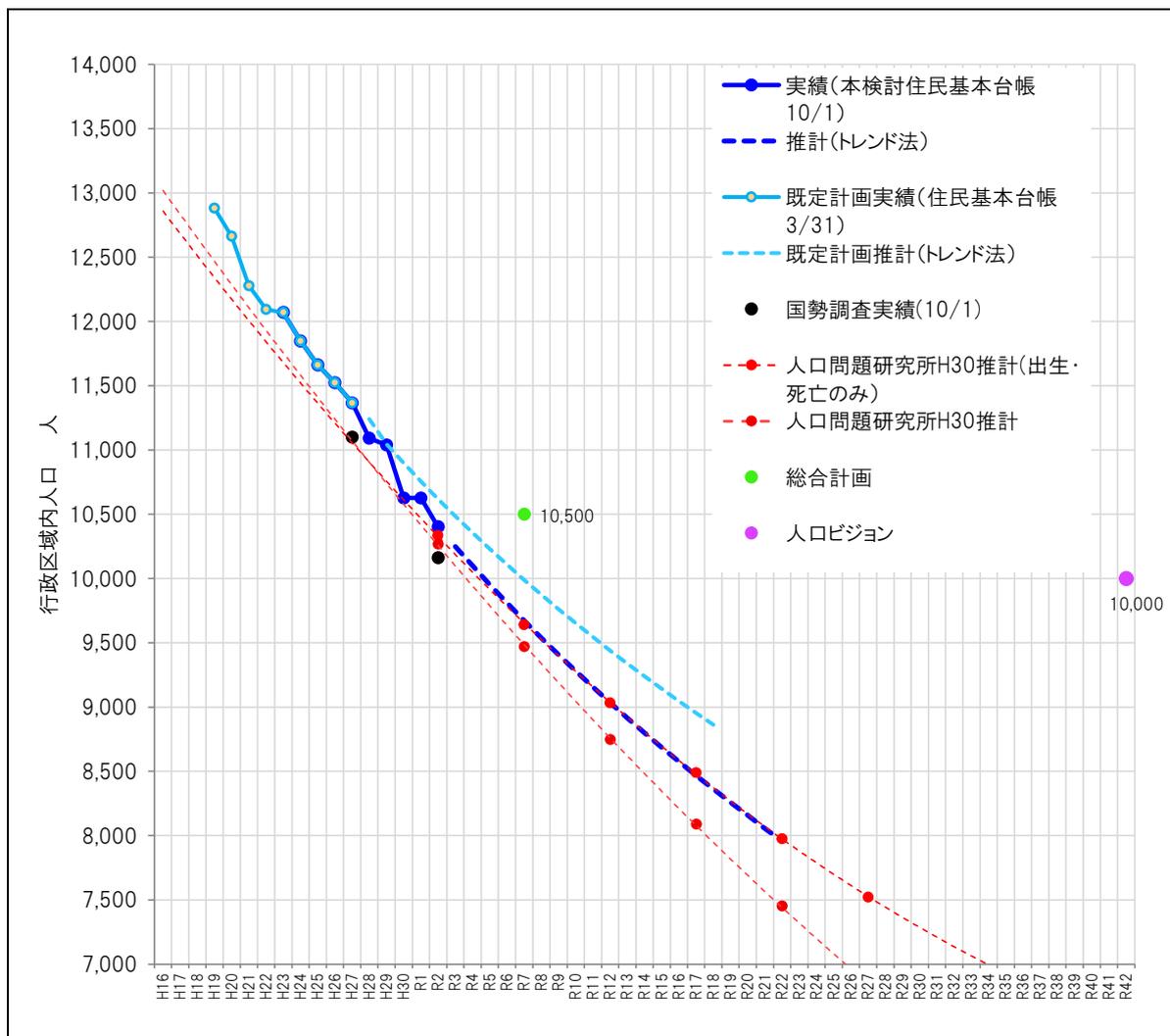
人口問題研究所において、「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年 3 月推計）が平成 30 年 3 月に公表されている。これは平成 27 年までの実績値を基に推計されたものである。その結果は後述の図表 1-2 に示すとおりである。

3) 実績値による推計

本町の過去 10 年間の人口実績を基に、対数回帰式を用いて推計した。対数回帰式は、増加あるいは減少が直線的に継続するものではなく、徐々に傾向が緩和する傾向を示すもので、人口問題研究所の推計値と似た傾向を示す。

推計結果は図表 1-2 に示す通りである。

◆図表 1-2 本町の行政区域内人口の実績と将来見込



4) 本計画における採用値

本計画における行政区域内人口は、ごみ処理の適正処理を行うため、処理施設の処理能力が過大、過小とならないよう、各町の実績値を基に総合計画、人口ビジョン、人口問題研究所の推計値を考慮したうえで、適正な傾向を示す値とした。

本計画における長期計画目標年度となる令和13年度の人口は、8,916人と見込んだ。平均年増減率は、マイナス1.4%である。

◆図表 1-3 本町の行政区域内人口の実績と将来見込

実績	推計値	平均年増減率
令和2年度	令和13年度	
10,403人	8,916人	-1.4%

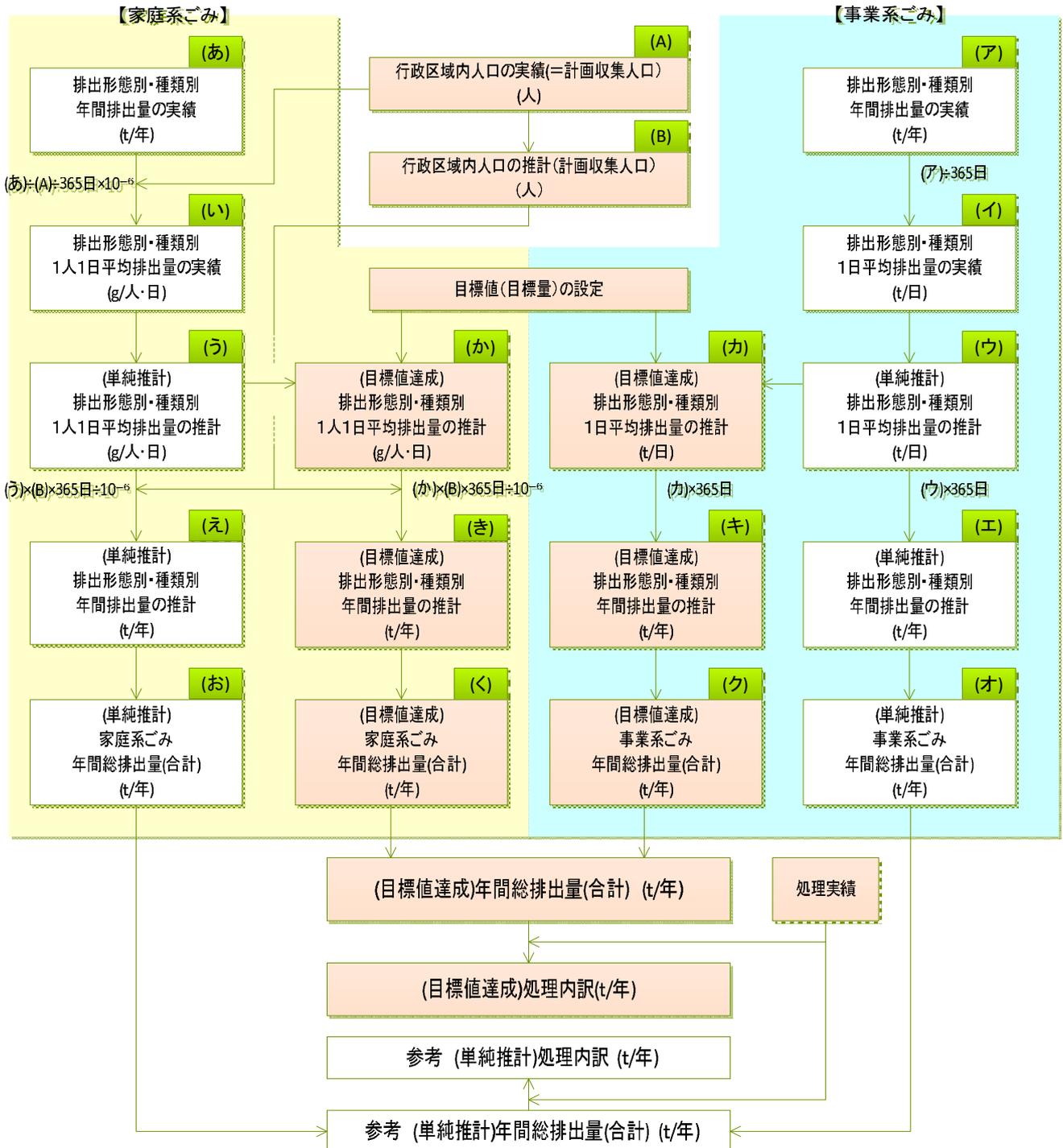
注] 平均増減率 = $(R2 \div R13)^{(1 \div 11)} - 1$

(2) ごみ排出量の将来見込

1) 推計方法等

本計画における人口及びごみ排出量の将来見込みは、図表 1-4 に示す手順で算出した。

◆図表 1-4 ごみ排出量の将来見込算定手順

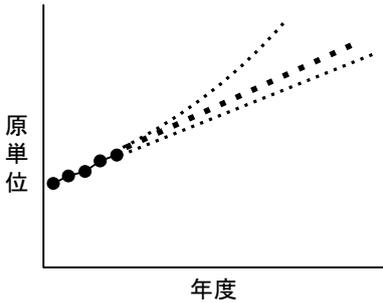
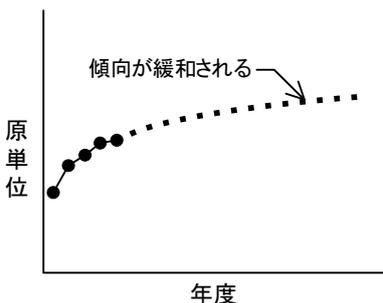
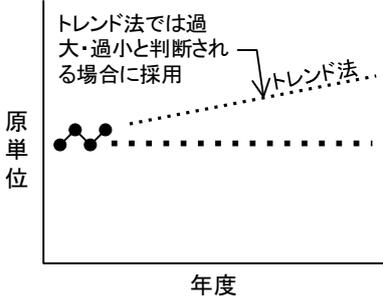
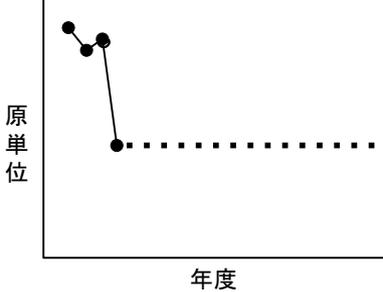


2) 単純推計

本町の過去10年間の人口実績を基に、トレンド法を用いて推計した。

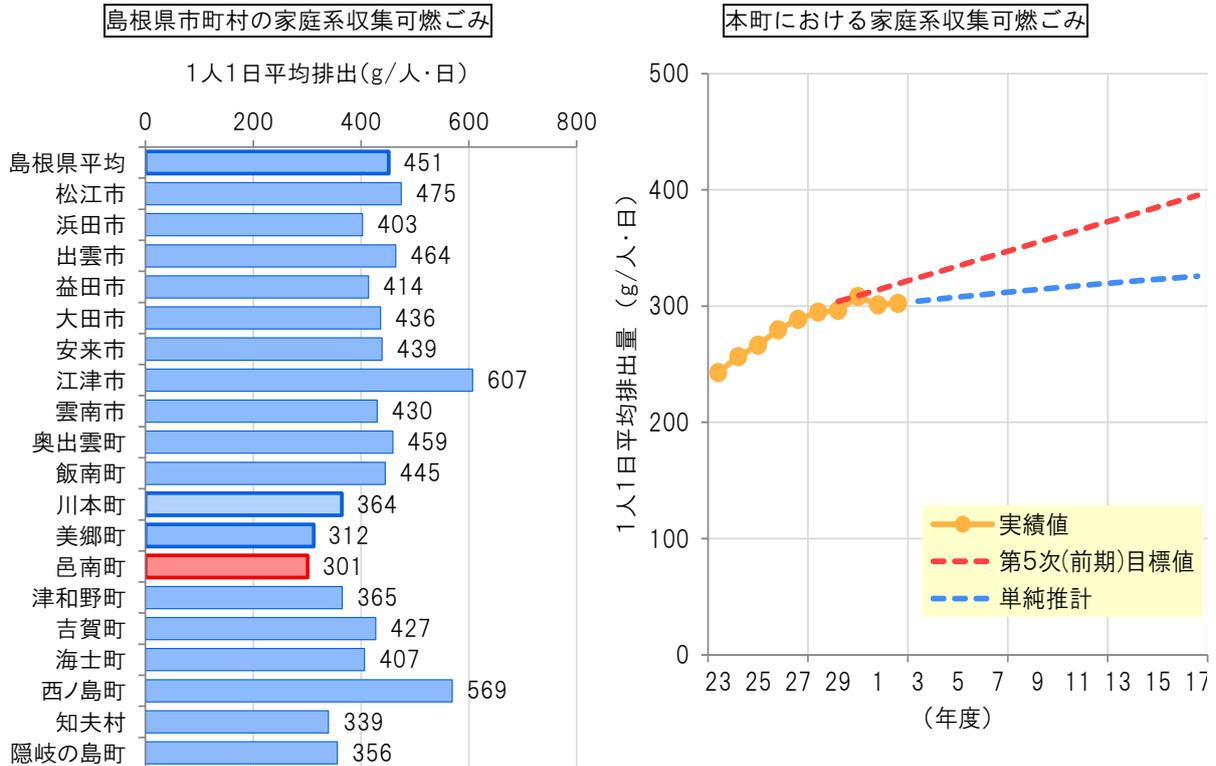
この推計結果は、現状の施策等を継続した場合の将来ごみ排出量を示すものであると考え、本構想においては「単純推計」と定義した。具体的な推計方法(式)の採用は、図表1-5に示す考え方を基本とし、過去の実績値の推移を勘案して、適宜、適切な方法を選択した。

◆図表 1-5 採用する推計方法の考え方

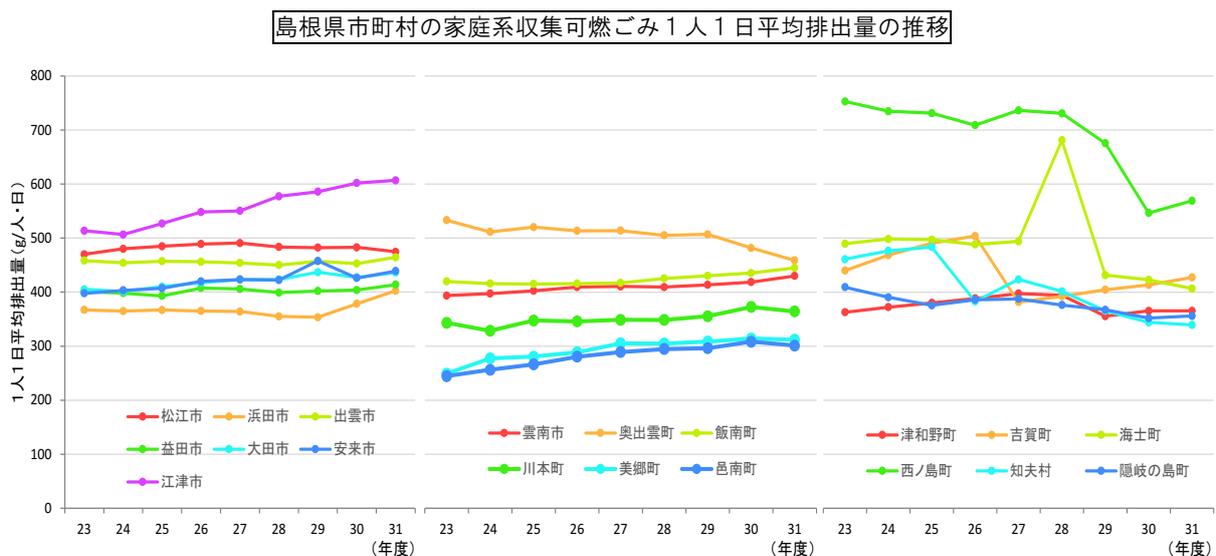
推計方法	考え方
最小二乗法 等差級数法 等比級数法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 増加や減少が安定した傾向を示し、推計対象物の性格や他事例から今後もこの傾向が続くと考えられる場合に採用する。 ○ 過大過小とならないよう、3方法の中位を採用する。 
対数回帰法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 増加や減少傾向が徐々に緩和される傾向を示し、今後もこの傾向が続くと判断できる場合に採用する。 ○ 前出の推計は、直線的に増減するため、長期的にみると過大となったり、減少傾向の場合にゼロとなったりする場合があるが、こうしたことは起こり得ないと判断できる場合等に採用する。 
平均	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期的には横ばい傾向で、各年では増減を繰り返しているような場合で、最小二乗法では実績値を反映した推計が困難と判断される場合に採用する。 ○ 最新年のデータが増加している場合に増加傾向を示す推計となり、長期的に不合理となる場合がある。 
指定年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去の実績値がない、あるいは分別区分の変更等により、将来推計を行ううえで参考とならないと判断される場合に最新年をもって将来推計値とする場合等に採用する。 

既定計画においては、家庭系可燃ごみ排出量の増加傾向が継続すると予測していたが、令和元年度以降、減少に転じている。しかし、本町の1人1日平均排出量は、図表1-6に示すとおり301グラムであり、依然として島根県平均に比べ150グラム程度少ない状況にあることから、令和元年度以降の減少は一時的なものであり、長期的には増加傾向が継続するものと予測した。

◆図表 1-6 家庭系収集可燃ごみ1人1日平均排出量の実績等



(資料:「一般廃棄物処理実態調査」環境省HP)



注) 島根県内市町村の実績値をみると、概ね400～500グラムの範囲にあり、減少傾向から横ばいあるいは微増する傾向にある。ただし、排出量の少ない自治体は、組合構成町と同様に増加傾向にある。

3) 目標値達成

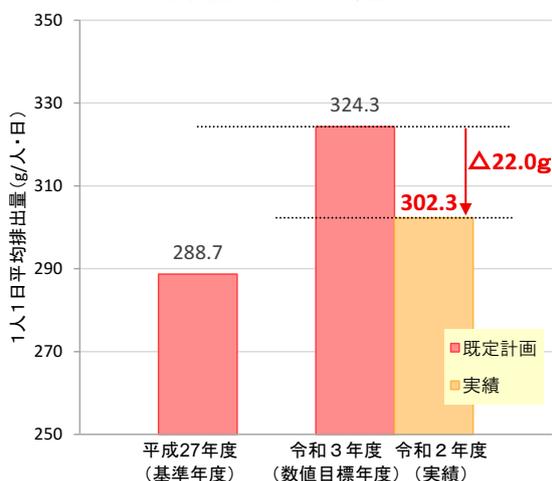
既定計画では増加傾向にある単純推計値のごみ排出量を基本に、計画目標年度（令和13年度）において家庭系収集可燃ごみを25グラム排出抑制し、うち5グラムは分別徹底により資源ごみへ移行するものとした。また事業系可燃ごみについては5%削減を目標とした。

前述のとおり、組合の可燃ごみ排出量は、令和元年度に減少に転じたため、令和2年度実績において既定計画目標値を達成している。

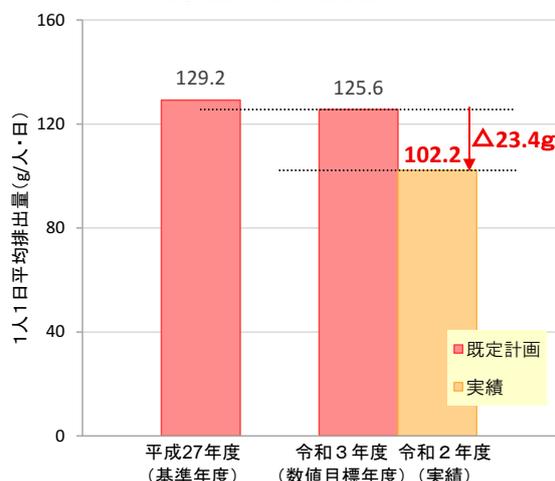
◆図表 1-7 邑南町一般廃棄物処理計画（第5次計画）における排出抑制目標値（抜粋）

- 家庭系収集可燃ごみの排出抑制目標は、長期的な排出量として適正処理の目安を400g/人・日とし、排出抑制及び分別徹底により単純推計より約25グラムを排出抑制するものとして令和13年度の目標量を375.0g/人・日、令和3年度の目標量を324.3 g/人・日とする。
- 家庭系収集資源ごみの排出抑制目標は、分別徹底により単純推計から令和13年度には5グラム増(123.4g/人・日)、令和3年度には2.5グラム増(125.6 g/人・日)を目標とする。

〔家庭系収集可燃ごみ〕

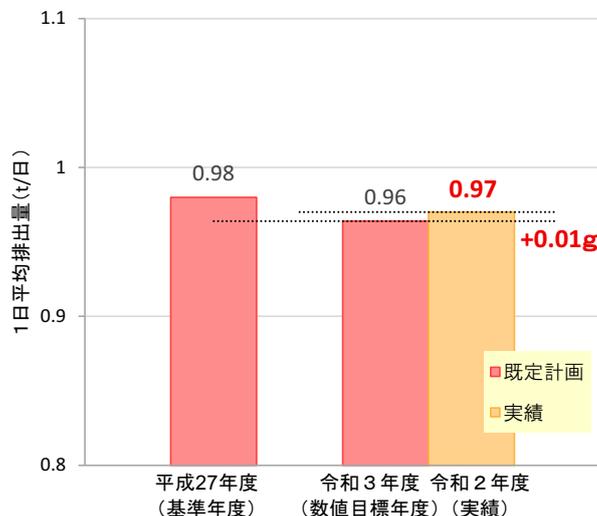


〔家庭系収集資源ごみ〕



- 事業系可燃ごみの排出抑制目標は、令和13年度までに平成27年度実績より概ね5%削減するものとし、令和13年度に0.93トン、令和3年度に0.96トンとする。

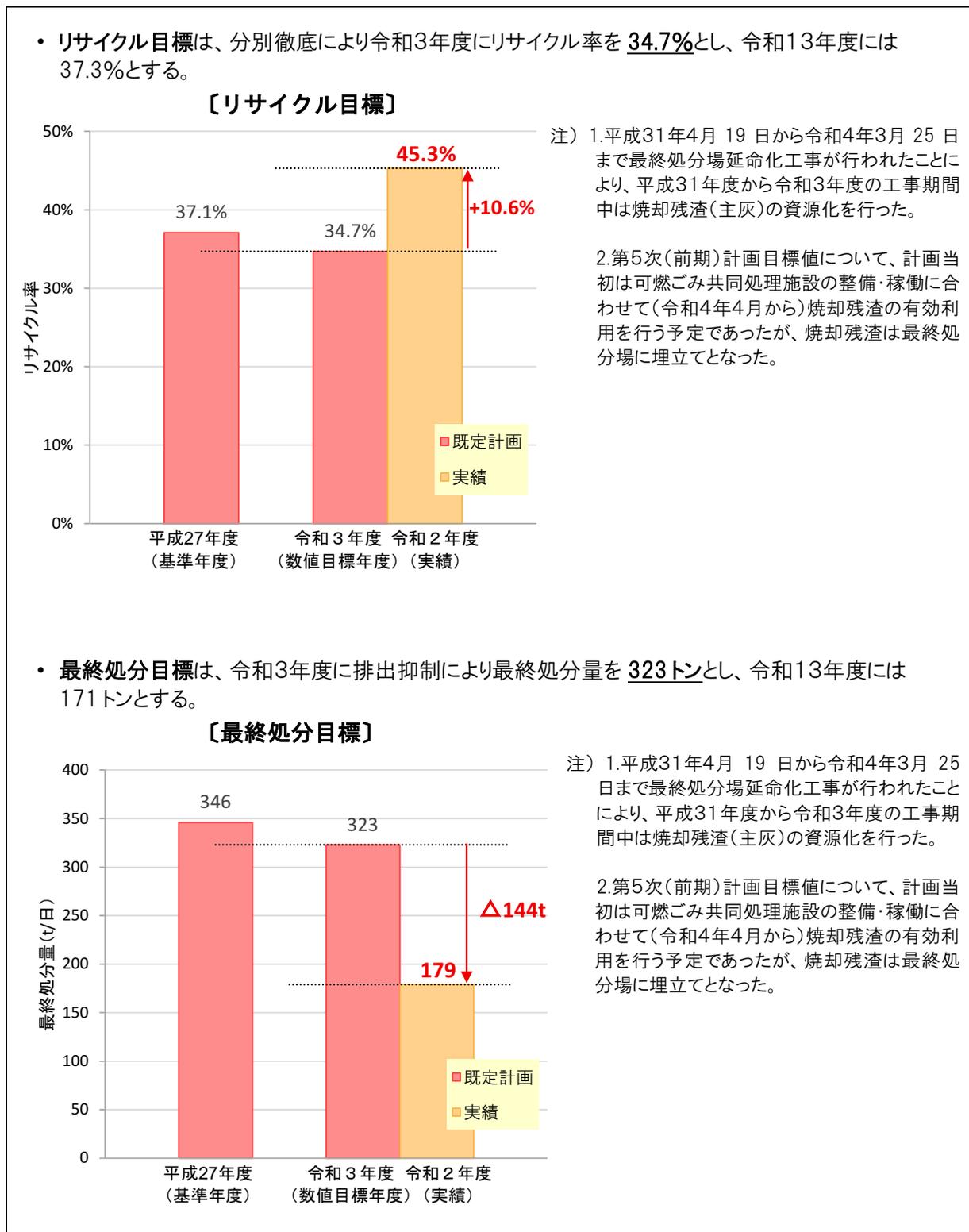
〔事業系可燃ごみ〕



既定計画では、分別徹底によりリサイクル率の低下を抑制し、可燃ごみ共同処理施設の稼働に合わせ焼却残渣（主灰）の有効利用を行うことで、リサイクル率の向上と最終処分量の削減を目標とした。

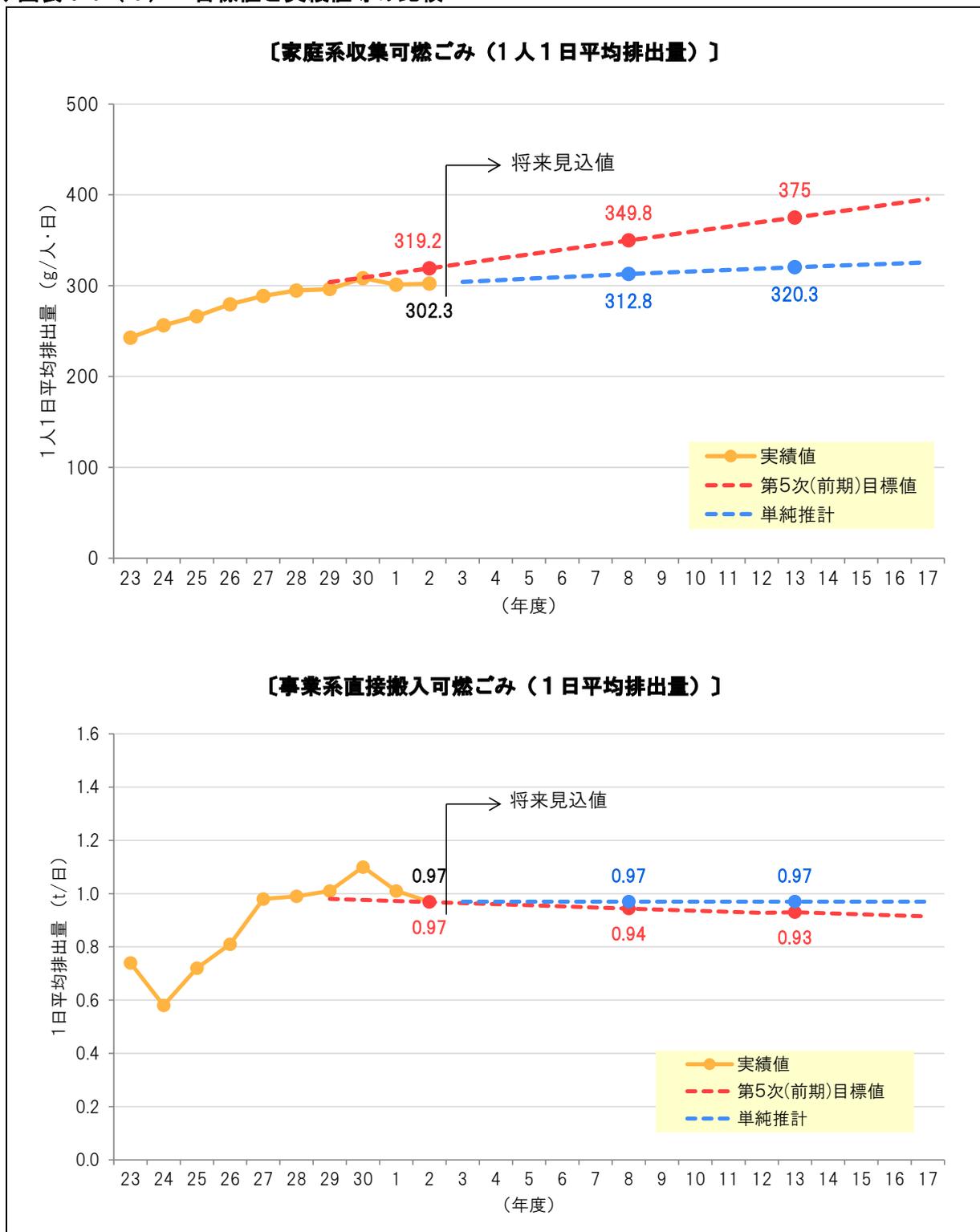
令和2年度実績は、最終処分場の延命化工事により埋立作業ができなくなったことから一時的に焼却残渣（主灰）の資源化を行ったことにより、リサイクル率は大幅に増加、最終処分量は大幅に減少している。

◆図表 1-8 邑南町一般廃棄物処理計画（第5次計画）における排出抑制目標値（抜粋）

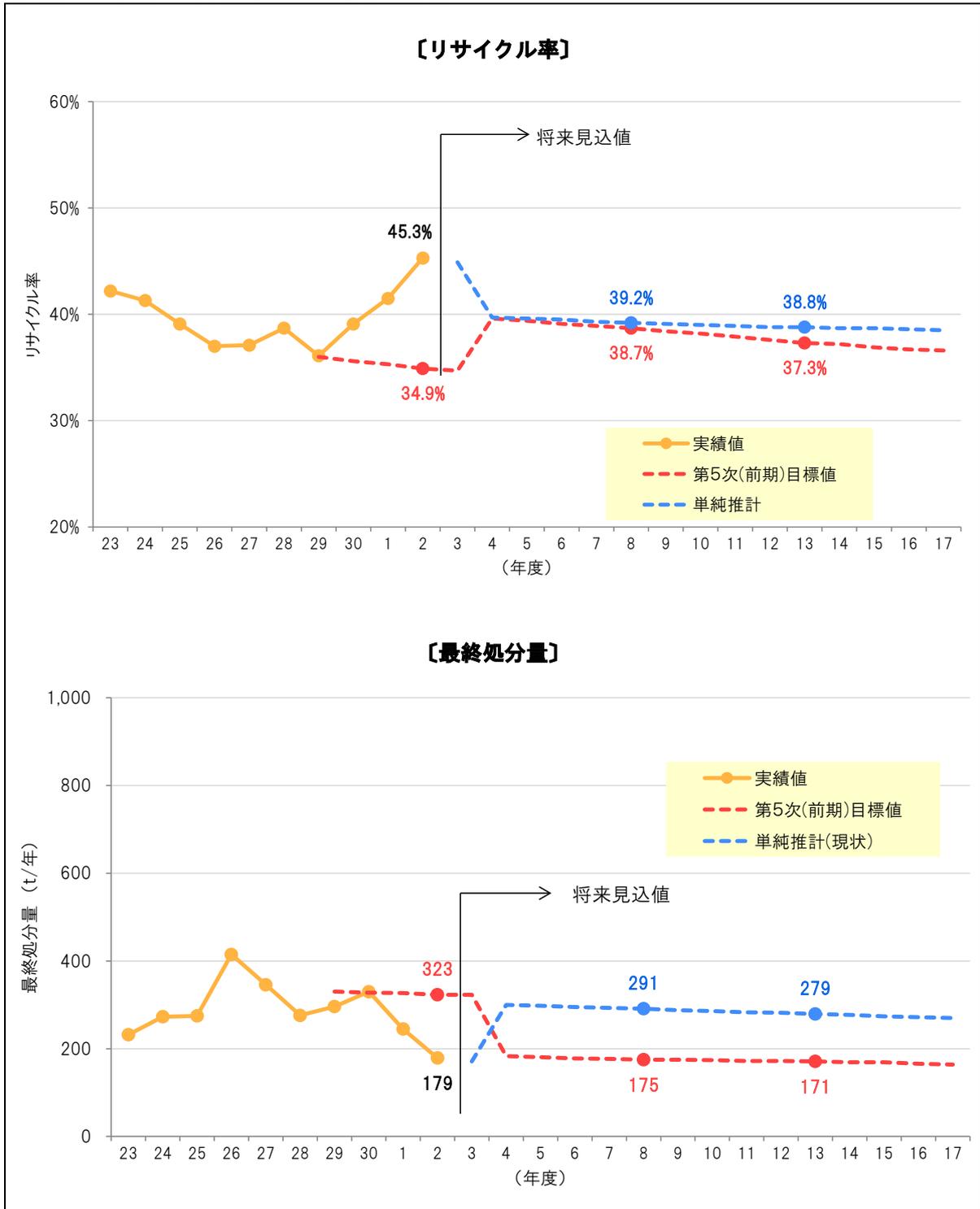


家庭系収集可燃ごみ排出量、事業系直接搬入可燃ごみ排出量、リサイクル率、最終処分量はすべて既定計画の目標値を達成しており、既定計画期間における施策等の取り組みの成果が発揮されたものと考えられるが、令和4年度以降焼却残渣（主灰）を埋め立てる方針となったことから、リサイクル率、最終処分量については目標値の見直しが必要である。

◆図表 1-9（1） 目標値と実績値等の比較



◆図表 1-9 (2) 目標値と実績値等の比較

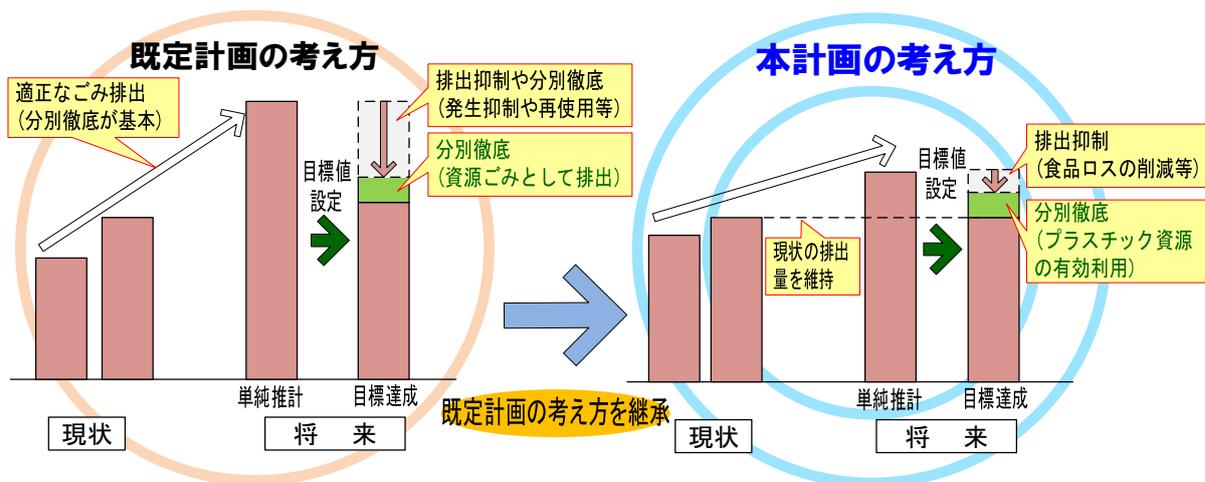


こうした状況から、家庭系収集可燃ごみの1人1日平均排出量（目標量）は、他市町村に比べ少ない排出量であり、長期的には微増傾向が継続すると考えられることを踏まえ、現状維持を目標とした。

具体的には、今後の家庭系収集可燃ごみの1人1日平均排出量が微増傾向で推移するものとした単純推計値から、計画目標年度である令和13年度に18グラム（6%程度の削減）と見込み、そのうち、12グラムを資源ごみとして分別排出するものとした。

なお、事業系可燃ごみについては、単純推計において減少が予測されることから、現状推移の維持を目標とし、あらたな削減目標値は設定しないこととした。

◆図表 1-10 可燃ごみ排出量に係る目標値の考え方



注) この目標値は、長期的な目標であるため、組合構成各町共通の概略的な考え方とした。

(3) 処理対象量・処理内訳の将来見込

本町における単純推計の将来見込を図表 1-11、処理内訳を図表 1-12 に、目標値を達成した場合の将来見込を図表 1-13、処理内訳を図表 1-14 に示す。

なお、処理内訳は、令和2年度の実績値より資源物ごとの比率を求め、処理対象量に乘じて求めた。

区分	処理	一推計																					
		年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
A 可燃ごみ	収集可燃ごみ	t/年	1,841	1,832	1,821	1,811	1,799	1,789	1,777	1,766	1,754	1,743	1,732	1,720	1,709	1,697	1,686	1,675	1,664	1,654	1,642	1,632	1,620
	焼却施設	t/年	1,148	1,138	1,128	1,118	1,108	1,099	1,089	1,080	1,070	1,061	1,052	1,042	1,033	1,024	1,015	1,007	998	990	981	973	964
	直接燃入不燃ごみ(許可+家庭系直燃+事業系直燃)	t/年	1,148	1,138	1,128	1,118	1,108	1,099	1,089	1,080	1,070	1,061	1,052	1,042	1,033	1,024	1,015	1,007	998	990	981	973	964
	焼却施設	t/年	693	694	693	693	691	690	688	686	684	682	680	678	676	673	671	668	666	664	661	659	656
	ごみ燃料化施設	t/年	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366
	ごみ燃料化施設	t/年	327	328	327	327	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326	326
	リサイクルセンター	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源ごみ	t/年	198	178	176	174	172	169	168	165	164	161	160	158	156	155	152	151	150	148	147	145	143
	収集可燃ごみ(カン・ビン・不燃混載)	t/年	122	120	118	117	115	113	112	110	109	107	106	104	103	102	100	99	98	97	96	94	93
	リサイクルプラザ	t/年	122	120	118	117	115	113	112	110	109	107	106	104	103	102	100	99	98	97	96	94	93
直接燃入不燃ごみ(許可+家庭系直燃+事業系直燃)	t/年	76	58	58	57	57	56	56	55	55	54	54	54	53	53	52	52	52	51	51	50	0	
直接燃入不燃ごみ(許可+家庭系直燃+事業系直燃)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
埋立①	t/年	26	20	20	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	
ごみ燃料化施設	t/年	50	38	38	38	38	37	37	37	36	36	36	36	36	35	35	34	34	34	34	34	33	
リサイクルプラザ	t/年	587	570	556	544	533	521	512	503	494	486	477	470	463	456	450	443	437	431	425	421	416	
収集資源ごみ	t/年	388	374	362	351	341	331	323	315	307	300	293	287	281	275	270	264	259	254	249	245	241	
直接資源化(ストックヤード)	t/年	290	279	270	262	255	247	241	235	229	224	219	214	210	205	202	197	193	190	186	183	180	
リサイクルプラザ	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
リサイクルプラザ	t/年	98	95	92	89	86	84	82	80	78	76	74	73	71	70	68	67	66	64	63	62	61	
直接燃入資源ごみ(許可+家庭系直燃+事業系直燃)	t/年	199	196	194	193	192	190	189	188	187	186	184	183	182	181	180	179	178	177	176	176	175	
直接資源化(ストックヤード)	t/年	166	165	163	163	162	160	160	159	158	157	155	155	154	153	152	151	150	149	148	148	147	
ごみ燃料化施設	t/年	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
リサイクルプラザ	t/年	21	20	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
リサイクルプラザ	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
粗大ごみ	t/年	92	81	81	79	79	78	78	77	77	76	76	76	74	74	73	73	73	72	71	71	71	
収集粗大ごみ+有害ごみ	t/年	34	34	34	33	33	33	32	32	32	32	31	31	31	30	30	29	29	29	29	28	28	
リサイクルプラザ	t/年	34	34	34	33	33	33	32	32	32	32	31	31	31	30	30	29	29	29	29	28	28	
直接燃入資源ごみ(許可+家庭系直燃+事業系直燃)	t/年	58	47	47	46	46	46	46	45	45	45	44	44	44	44	44	44	44	44	43	43	43	
ごみ燃料化施設	t/年	45	36	36	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	34	34	34	34	34	33	33	33	
リサイクルプラザ	t/年	13	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
ごみ燃料化施設	t/年	2,718	2,661	2,634	2,608	2,583	2,557	2,535	2,511	2,489	2,466	2,445	2,424	2,402	2,382	2,361	2,342	2,324	2,305	2,285	2,269	2,250	
資源ごみ	t/年	1,531	1,520																				
現焼却施設	t/年	1,514	1,504																				
焼却①	t/年	17	16																				
焼却③	t/年																						
焼却④	t/年																						
焼却④	t/年																						
処理内訳	t/年	224	222																				
焼却	t/年	133	132																				
焼却	t/年	91	90																				
新焼却施設	t/年	1,510	1,499	1,488	1,478	1,466	1,456	1,445	1,434	1,424	1,413	1,402	1,391	1,381	1,372	1,362	1,352	1,341	1,332	1,321	1,310		
可燃ごみ	t/年	1,484	1,473	1,463	1,452	1,442	1,431	1,421	1,411	1,400	1,390	1,379	1,369	1,360	1,350	1,341	1,330	1,321	1,310	1,300	1,290	1,280	
処理資源化(ストックヤード)	t/年	16	15	15	15	15	14	14	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12	11	11	11	
リサイクルプラザ	t/年																						
リサイクルプラザ	t/年																						
不燃ごみ(カン・ビン・不燃ごみ混載)	t/年	193	179	177	175	173	170	169	166	165	163	162	159	157	156	153	152	151	150	149	147	145	
粗大ごみ+有害ごみ	t/年	79	70	69	68	68	67	67	66	66	66	66	66	66	64	64	63	63	62	61	61	61	
資源物	t/年	184	168	167	165	164	161	160	158	157	155	154	152	149	149	146	145	145	143	142	141	139	
資源物	t/年	184	168	167	165	164	161	160	158	157	155	154	152	149	149	146	145	145	143	142	141	139	
資源物	t/年	138	126	125	124	123	121	120	119	118	116	116	114	112	112	110	109	109	107	107	106	104	
資源物	t/年	25	23	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	19	19	
資源物	t/年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	
資源物	t/年	76	69	68	67	66	66	66	65	64	64	63	62	61	61	60	60	60	59	58	57	57	
資源物	t/年	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	
資源物	t/年	19	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	14	
資源物	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
資源物	t/年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
資源物	t/年	46	42	41	41	40	40	39	39	38	37	37	37	37	36	36	36	36	36	35	35	35	
資源物	t/年	18	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	
資源物	t/年	22	20	20	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	16	
資源物	t/年	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
資源物	t/年	88	81	80	79	78	77	77	75	74	74	73	72	71	70	70	69	69	68	67	67	67	
資源物	t/年	100	97	94	91	88	86	84	82	80	78	76	75	73	72	70	69	68	66	65	64	63	
資源物	t/年	100	97	94	91	88	86	84	82	80	78	76	75	73	72	70	69	68	66	65	64	63	
資源物	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資源物	t/年	83	81	78	76	73	71	70	68	66	65	63	62	61	60	58	57	56	55	54	53	52	
資源物	t/年	12	12	11	11	11	10	10	10	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	
資源物	t/年	52	51	49	48	46	45	44	43	41	41	40	39	38	38	36	36	35	34	34	33	33	
資源物	t/年	19	19	18	17	17	16	16	16	15	14	14	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12	
資源物	t/年	17	16	16	15	15	15	14	14	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	11	
資源物	t/年	0																					

行政区域内人口の実績

(人)

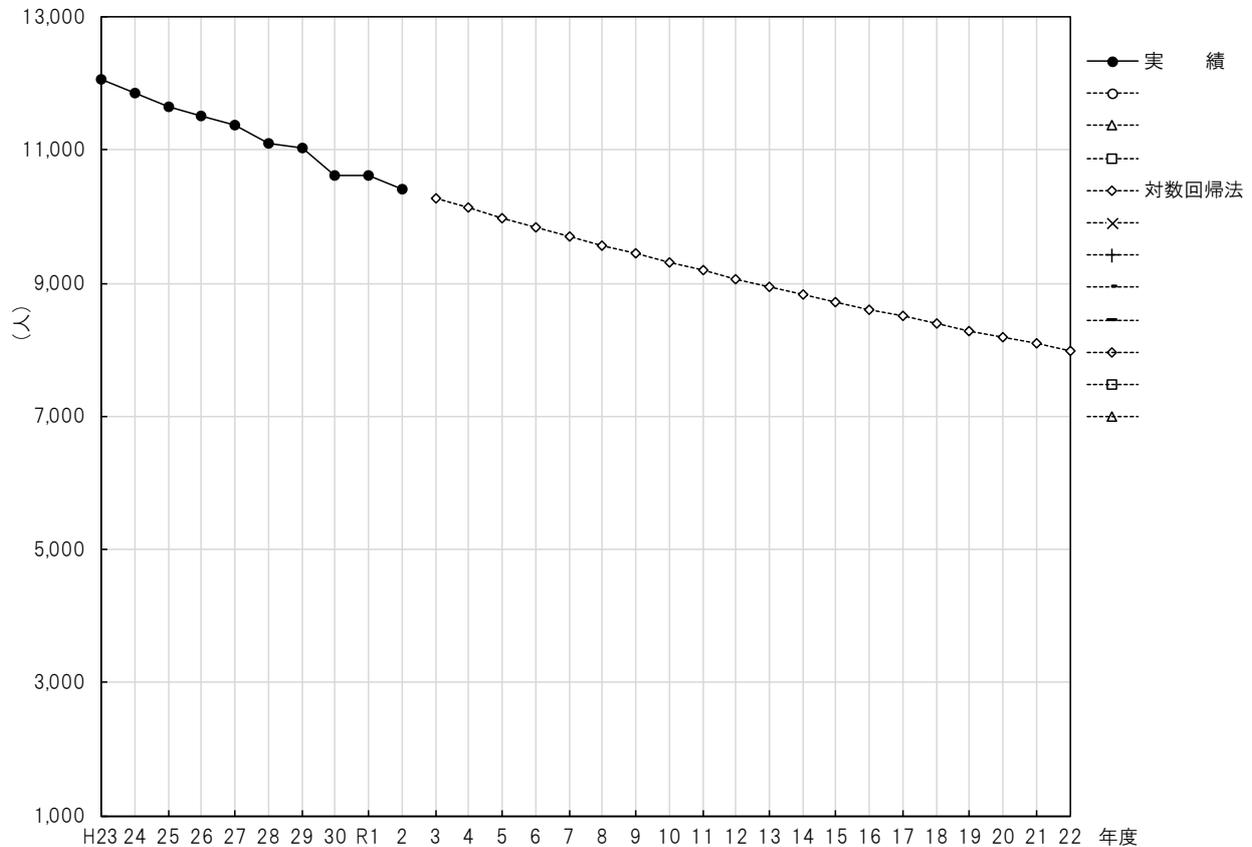
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
行政区域内人口	12,071	11,849	11,662	11,524	11,367
前年差	-	-222	-187	-138	-157
前年比	-	0.98161	0.98422	0.98817	0.98638
不採用データ					

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
行政区域内人口	11,092	11,039	10,627	10,627	10,403
前年差	-275	-53	-412		-224
前年比	0.97581	0.99522	0.96268	1.00000	0.97892
不採用データ					

推計式及び推計結果

(人)

推計方法	推 計 式	R13	順位	相関係数	順位	採用(相関)
最小二乗法	-	-	-	-	-	-
等差級数法	-	-	-	-	-	-
等比級数法	-	-	-	-	-	-
対数回帰法	$Y=27,883.0-5,034.3 \times \text{Ln}(\text{平成年度}0)$	8,948	1	0.9926909	1	○
指数回帰法	-	-	-	-	-	-
分 数	-	-	-	-	-	-
ル ー ト	-	-	-	-	-	-
べ き 乗	-	-	-	-	-	-
修正指数	-	-	-	-	-	-
ロジステック	-	-	-	-	-	-
ゴンベルツ	-	-	-	-	-	-
修 正 式	$Y=27,883.0-5,034.3 \times \text{Ln}(\text{平成年度}0) + -32$	8,916	-	-	-	-



行政区域内人口の推計結果

◆資料 2 家庭系収集可燃ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系収集ごみ(家庭系収集可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

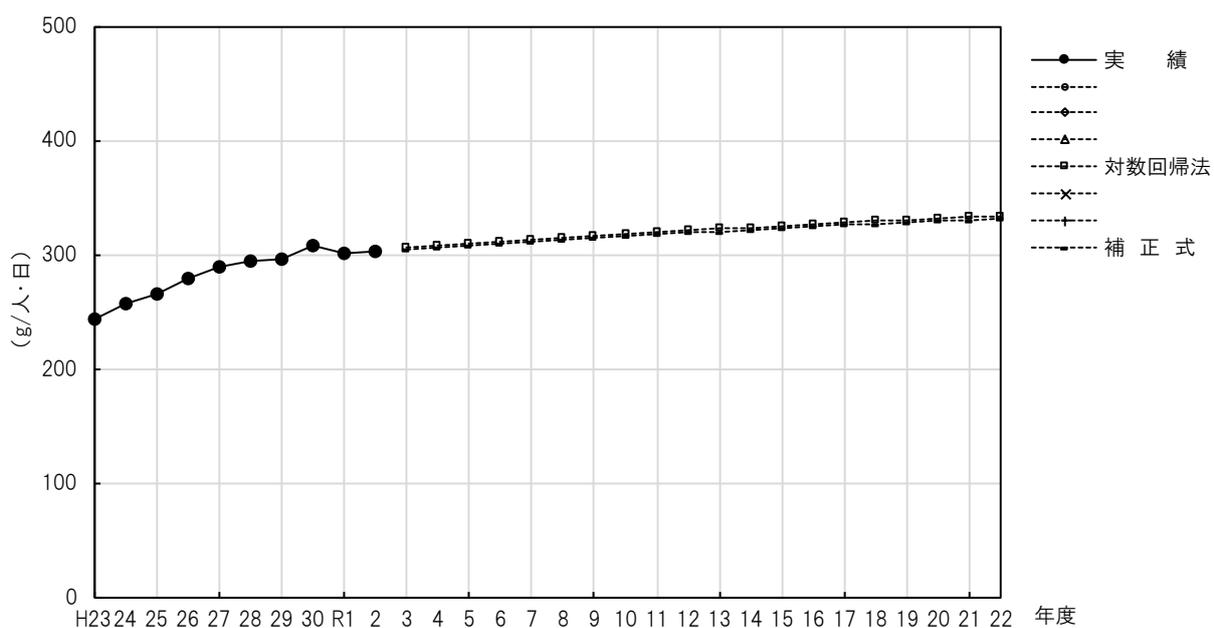
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	242.9	256.4	266.4	279.6	288.7
前年差	-	13.5	10.0	13.2	9.1
前年比	-	1.05558	1.03900	1.04955	1.03255
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	294.7	296.3	308.3	301.1	302.3
前年差	6.0	1.6	12.0	-7.2	1.2
前年比	1.02078	1.00543	1.04050	0.97665	1.00399
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y=93.48+60.90 \times \text{Ln}(\text{平成年度})$	322.5	○	0.5996293
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y=93.48+60.90 \times \text{Ln}(\text{平成年度})+-2.2$	320.3	◎	-



家庭系収集ごみ(家庭系収集可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 3 家庭系収集不燃ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系収集ごみ(家庭系収集不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

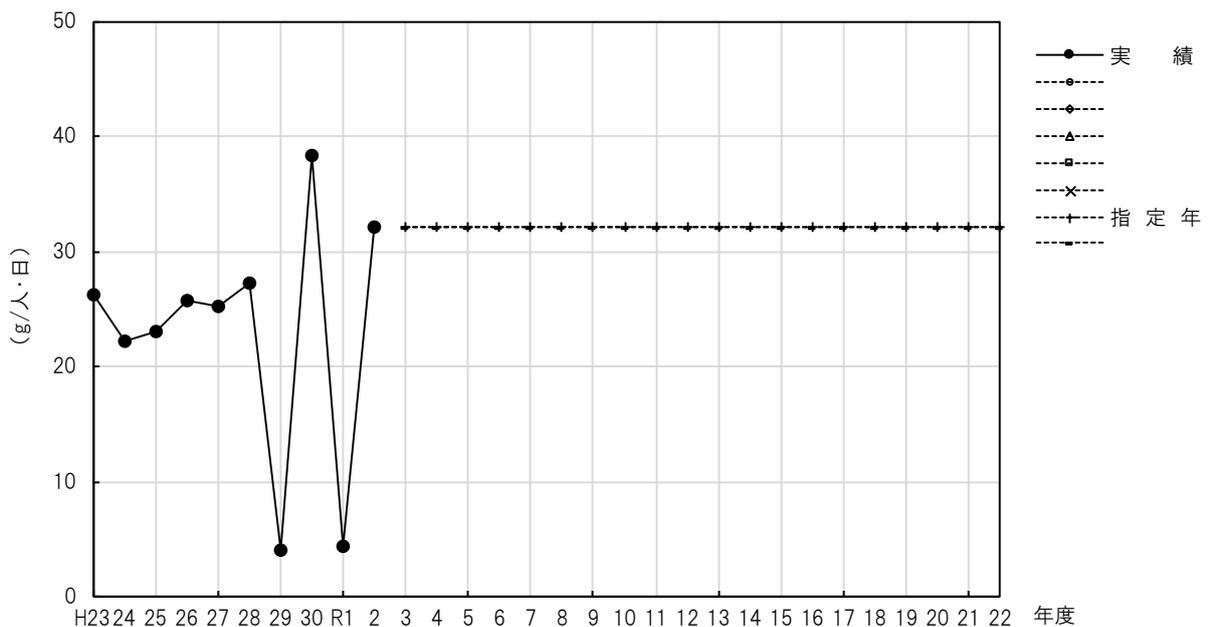
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	26.3	22.2	23.0	25.7	25.3
前年差	-	-4.1	0.8	2.7	-0.4
前年比	-	0.84411	1.03604	1.11739	0.98444
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	27.2	4.0	38.4	4.4	32.1
前年差	1.9	-23.2	34.4	-34.0	27.7
前年比	1.07510	0.14706	9.60000	0.11458	7.29545
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
指 定 年	Y=32.1	32.1	○	-
-	-	-		-



家庭系収集ごみ(家庭系収集不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 4 家庭系収集資源ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系収集ごみ(家庭系収集資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

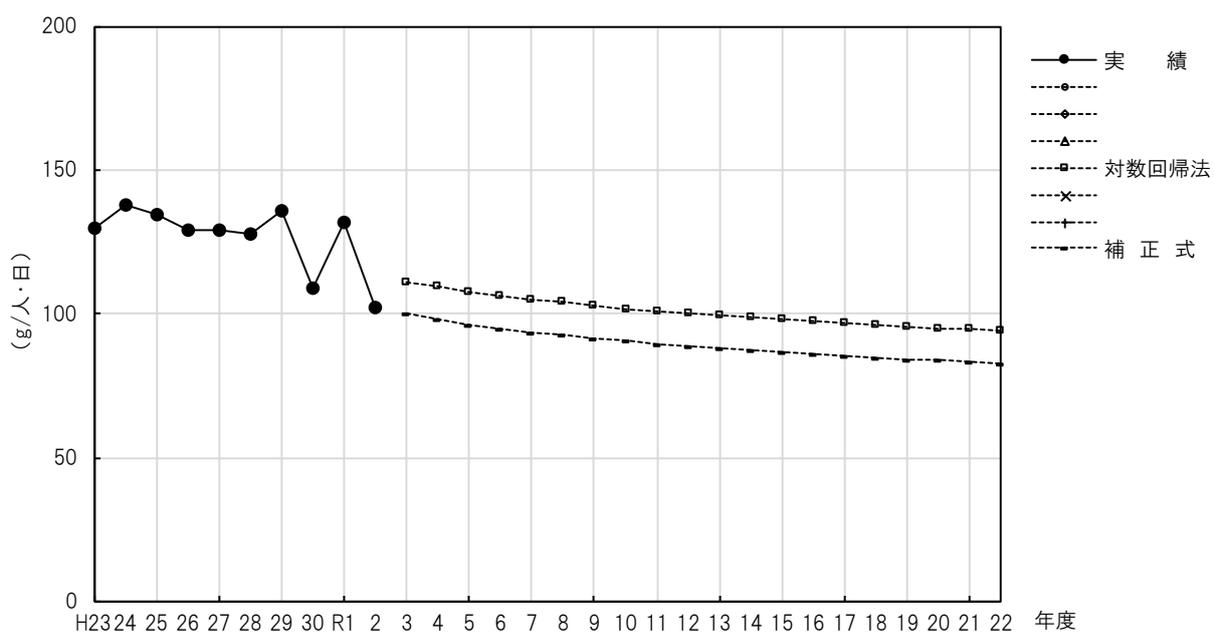
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	130.1	137.6	134.4	128.9	129.2
前年差	-	7.5	-3.2	-5.5	0.3
前年比	-	1.05765	0.97674	0.95908	1.00233
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	127.5	136.0	108.8	132.0	102.2
前年差	-1.7	8.5	-27.2	23.2	-29.8
前年比	0.98684	1.06667	0.80000	1.21324	0.77424
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y=132.83-12.04 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-27)$	99.4	○	0.5111999
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y=132.83-12.04 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-27)+-11.3$	88.1	◎	-



家庭系収集ごみ(家庭系収集資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 5 家庭系収集粗大ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系収集ごみ(家庭系収集粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

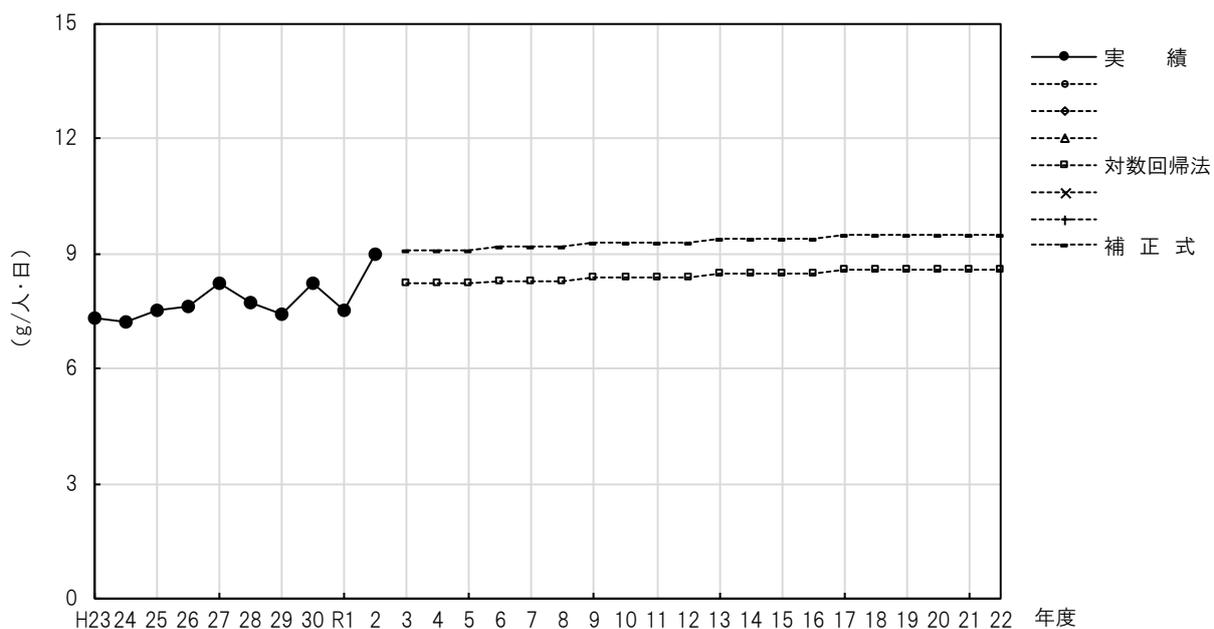
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	7.3	7.2	7.5	7.6	8.2
前年差	-	-0.1	0.3	0.1	0.6
前年比	-	0.98630	1.04167	1.01333	1.07895
採用データ	○	○	○	○	○

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	7.7	7.4	8.2	7.5	9.0
前年差	-0.5	-0.3	0.8	-0.7	1.5
前年比	0.93902	0.96104	1.10811	0.91463	1.20000
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y=7.07+0.46 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-22)$	8.5	○	0.5653129
-	-	-		-
-	-	-		-
補 正 式	$Y=7.07+0.46 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-22)+0.9$	9.4	◎	-



家庭系収集ごみ(家庭系収集粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 6 家庭系直接搬入可燃ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

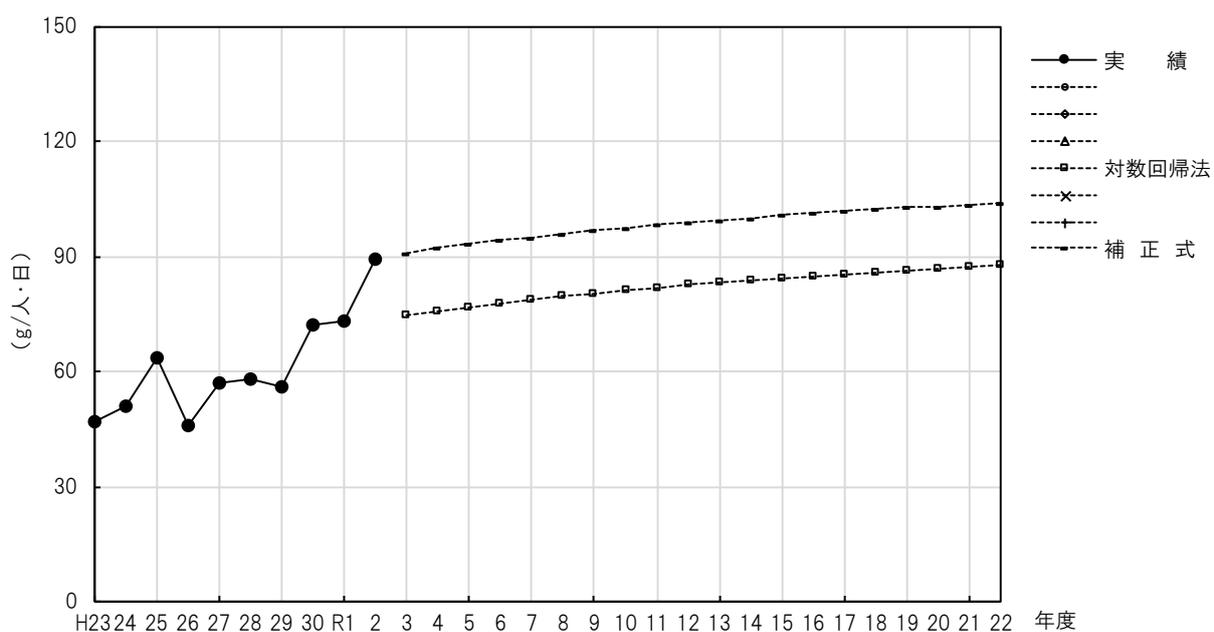
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	46.8	50.9	63.4	45.9	57.1
前年差	-	4.1	12.5	-17.5	11.2
前年比	-	1.08761	1.24558	0.72397	1.24401
採用データ	不採用	不採用	○	○	○

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	58.0	56.1	72.2	73.2	89.5
前年差	0.9	-1.9	16.1	1.0	16.3
前年比	1.01576	0.96724	1.28699	1.01385	1.22268
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y=49.13+11.54 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-24)$	83.1	○	0.6009962
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y=49.13+11.54 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-24)+16.4$	99.5	◎	-



家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 7 家庭系直接搬入不燃ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

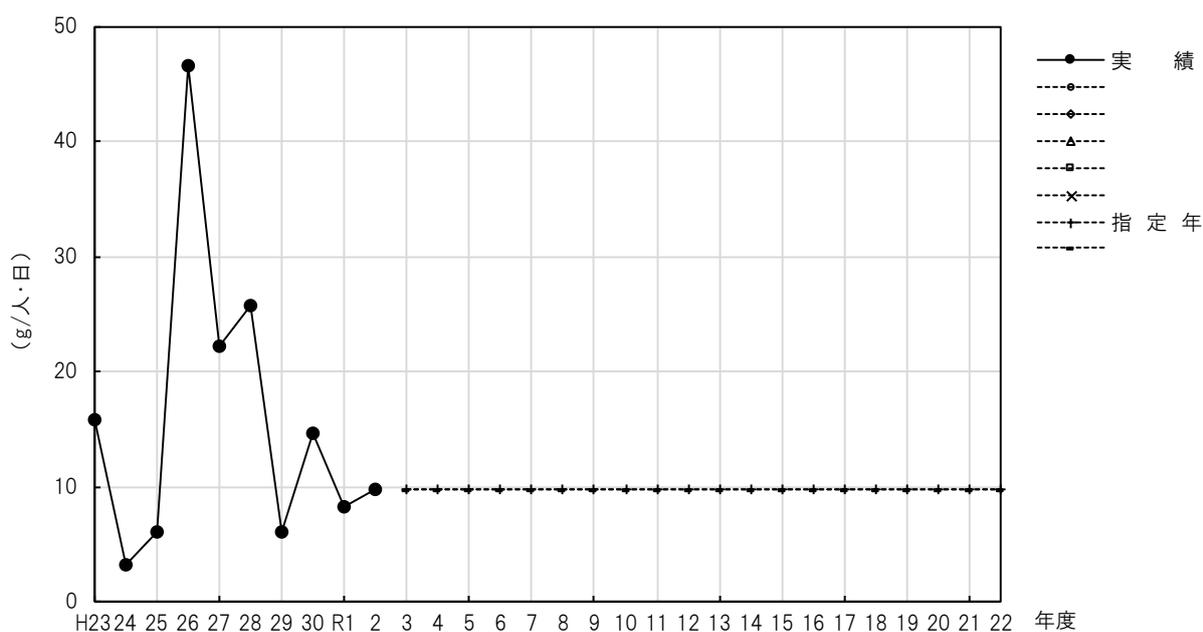
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	15.9	3.2	6.1	46.6	22.2
前年差	-	-12.7	2.9	40.5	-24.4
前年比	-	0.20126	1.90625	7.63934	0.47639
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	25.7	6.0	14.7	8.2	9.7
前年差	3.5	-19.7	8.7	-6.5	1.5
前年比	1.15766	0.23346	2.45000	0.55782	1.18293
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
指 定 年	Y=9.7	9.7	○	-
-	-	-		-



家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 8 家庭系直接搬入資源ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

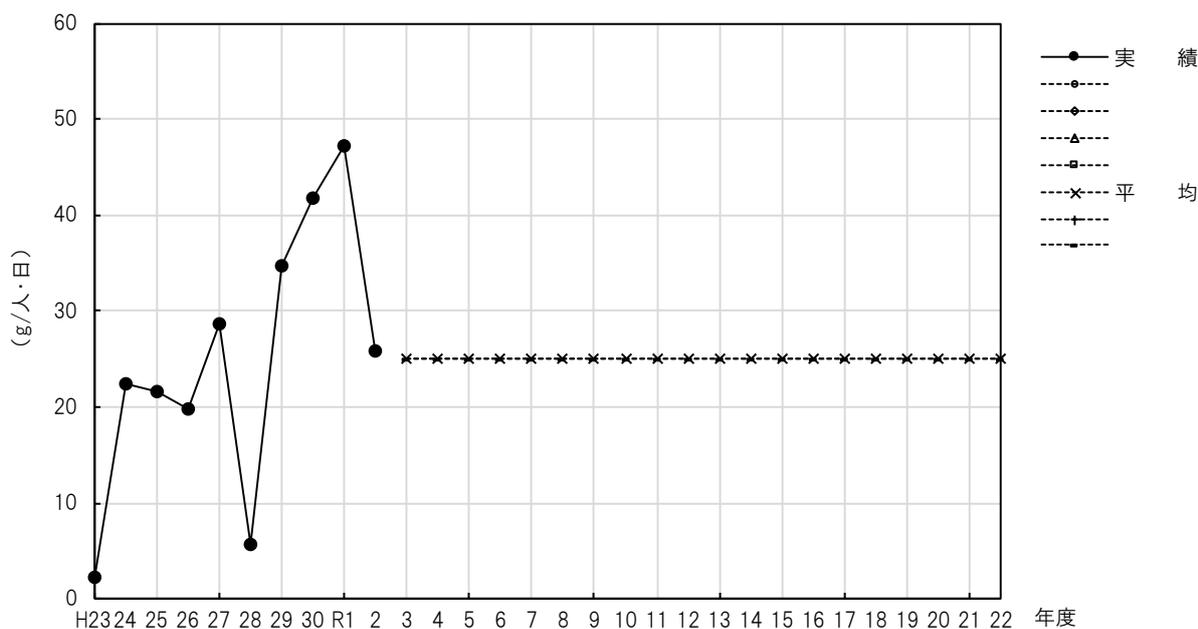
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	2.3	22.4	21.6	19.7	28.7
前年差	-	20.1	-0.8	-1.9	9.0
前年比	-	9.73913	0.96429	0.91204	1.45685
採用データ	○	○	○	○	○

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	5.7	34.7	41.8	47.2	25.8
前年差	-23.0	29.0	7.1	5.4	-21.4
前年比	0.19861	6.08772	1.20461	1.12919	0.54661
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
平 均	Y=25.0	25.0	○	-
-	-	-		-
-	-	-		-



家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 9 家庭系直接搬入粗大ごみ1人1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

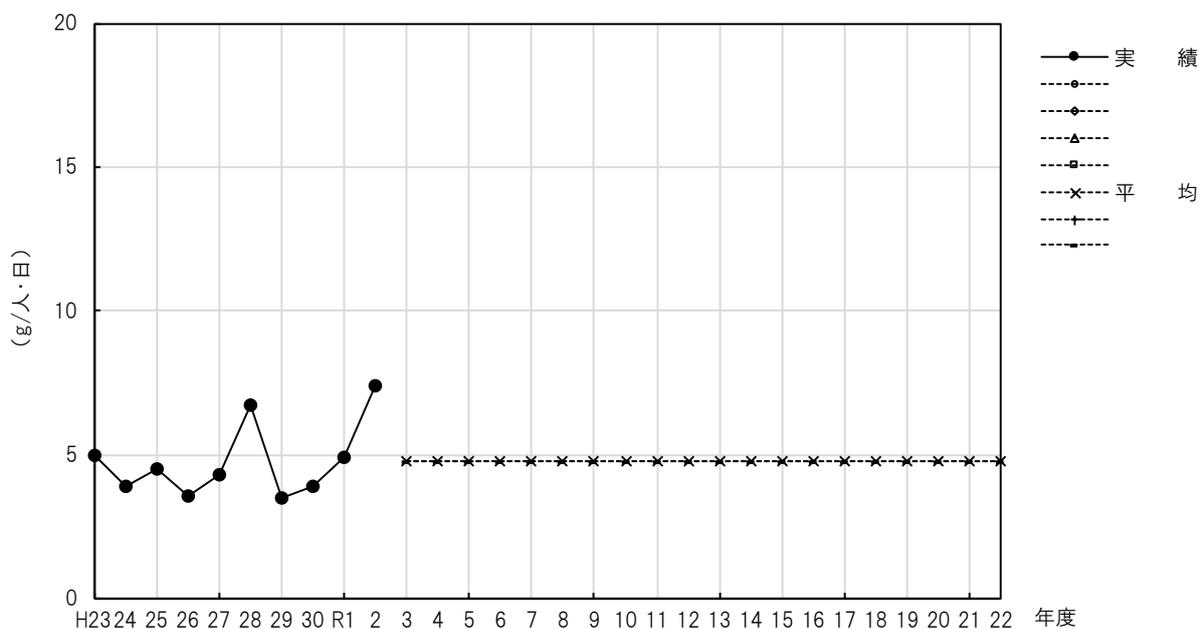
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	5.0	3.9	4.5	3.6	4.3
前年差	-	-1.1	0.6	-0.9	0.7
前年比	-	0.78000	1.15385	0.80000	1.19444
採用データ	○	○	○	○	○

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	6.7	3.5	3.9	4.9	7.4
前年差	2.4	-3.2	0.4	1.0	2.5
前年比	1.55814	0.52239	1.11429	1.25641	1.51020
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
平 均	Y=4.8	4.8	○	-
-	-	-		-
-	-	-		-



家庭系直接搬入ごみ(家庭系直接搬入粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

◆資料 10 事業系直接搬入可燃ごみ1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入可燃ごみ) 1日平均排出量の実績

(t/日)

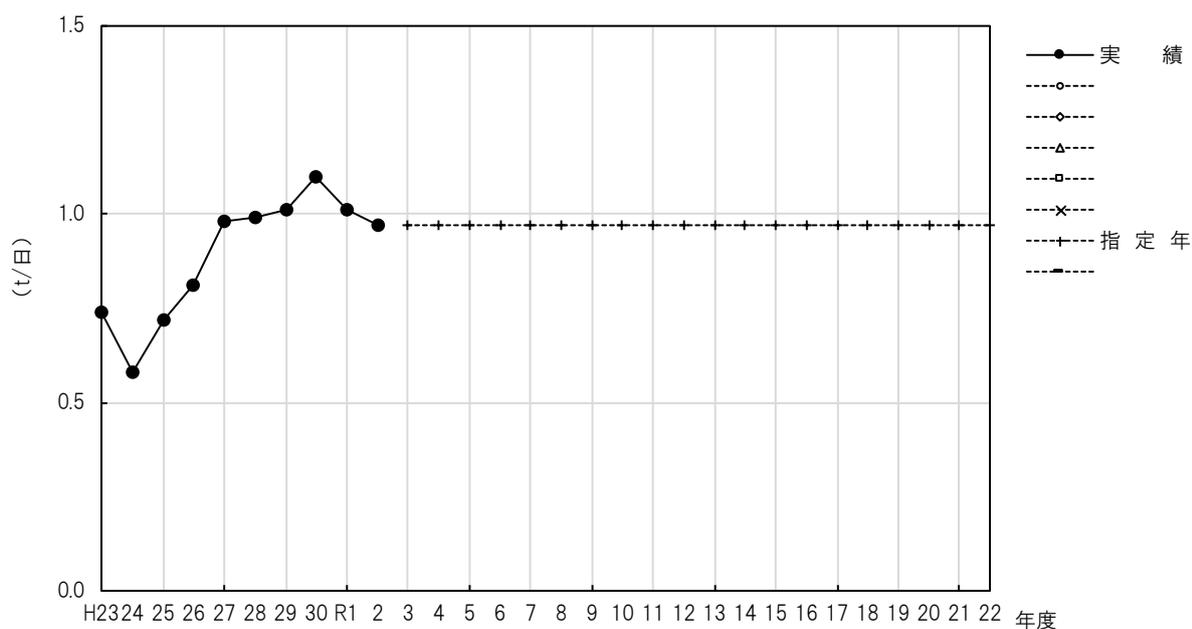
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	0.74	0.58	0.72	0.81	0.98
前年差	-	-0.16	0.14	0.09	0.17
前年比	-	0.78378	1.24138	1.12500	1.20988
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	0.99	1.01	1.10	1.01	0.97
前年差	0.01	0.02	0.09	-0.09	-0.04
前年比	1.01020	1.02020	1.08911	0.91818	0.96040
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

推計式及び推計結果

(t/日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
指 定 年	Y=0.97	0.97	○	-
-	-	-		-



事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入可燃ごみ) 1日平均排出量の推計結果

事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入不燃ごみ) 1日平均排出量の実績

(t/日)

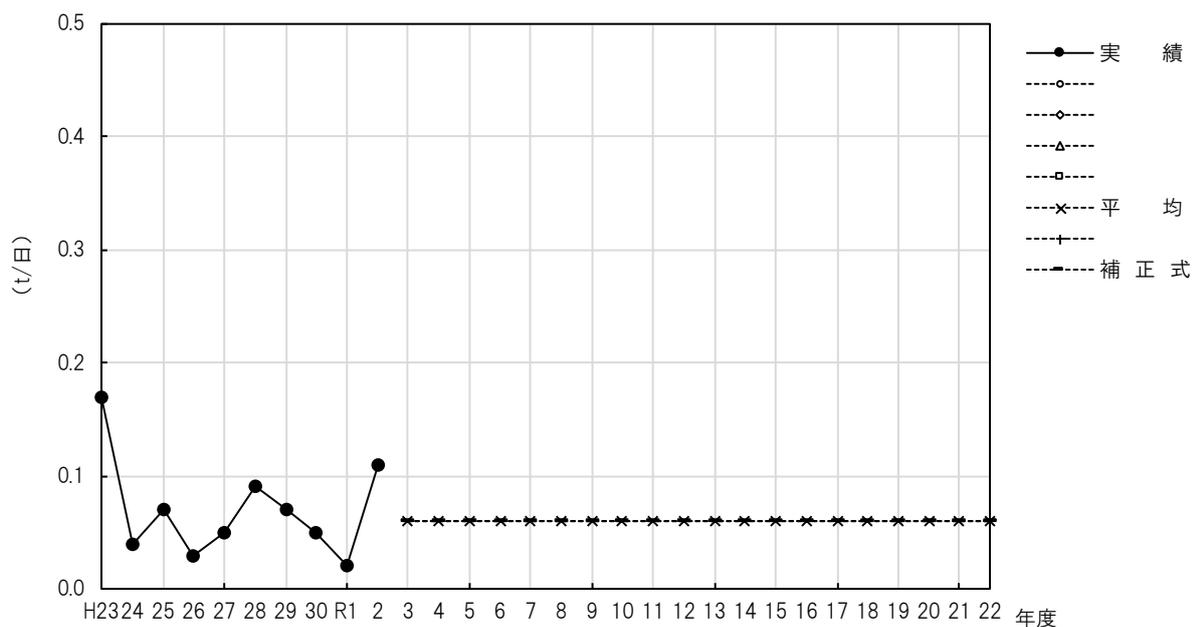
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	0.17	0.04	0.07	0.03	0.05
前年差	-	-0.13	0.03	-0.04	0.02
前年比	-	0.23529	1.75000	0.42857	1.66667
採用データ	不採用	○	○	○	○

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	0.09	0.07	0.05	0.02	0.11
前年差	0.04	-0.02	-0.02	-0.03	0.09
前年比	1.80000	0.77778	0.71429	0.40000	5.50000
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(t/日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
平 均	Y=0.06	0.06	○	-
-	-	-		-
補 正 式	Y=0.06+	0.06	○	-



事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入不燃ごみ) 1日平均排出量の推計結果

◆資料 12 事業系直接搬入資源ごみ1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入資源ごみ) 1日平均排出量の実績

(t/日)

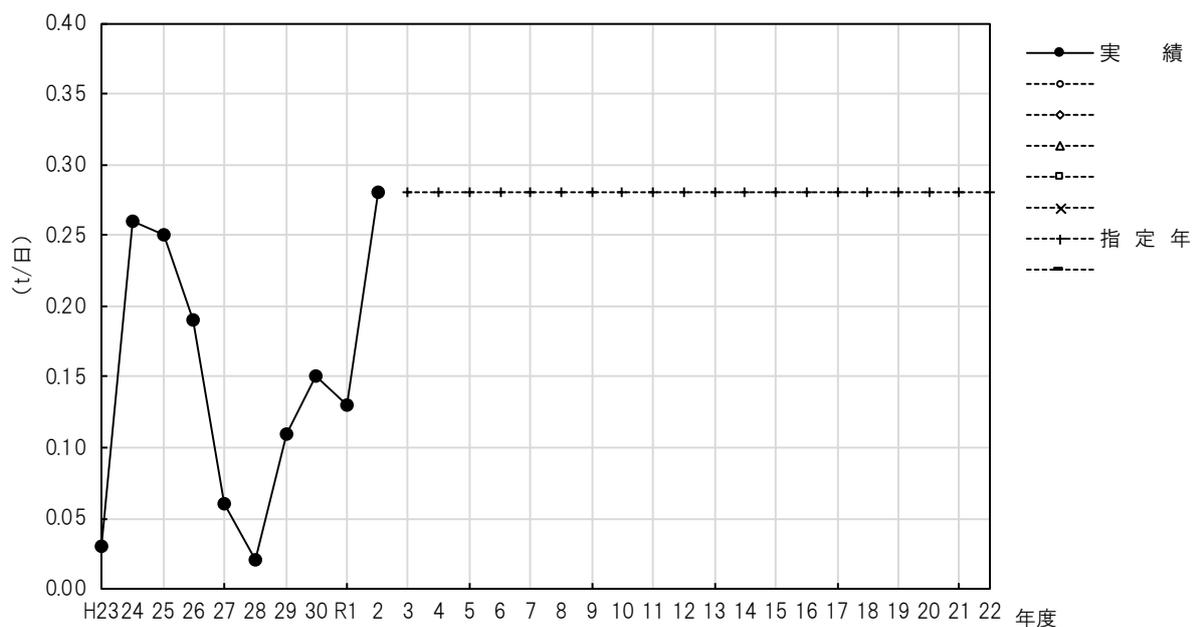
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	0.03	0.26	0.25	0.19	0.06
前年差	-	0.23	-0.01	-0.06	-0.13
前年比	-	8.66667	0.96154	0.76000	0.31579
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	0.02	0.11	0.15	0.13	0.28
前年差	-0.04	0.09	0.04	-0.02	0.15
前年比	0.33333	5.50000	1.36364	0.86667	2.15385
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

推計式及び推計結果

(t/日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
指 定 年	$Y=0.28$	0.28	○	-
-	-	-		-



事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入資源ごみ) 1日平均排出量の推計結果

◆資料 13 事業系直接搬入粗大ごみ1日平均排出量の推計結果【 邑南町 】

事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入粗大ごみ) 1日平均排出量の実績

(t/日)

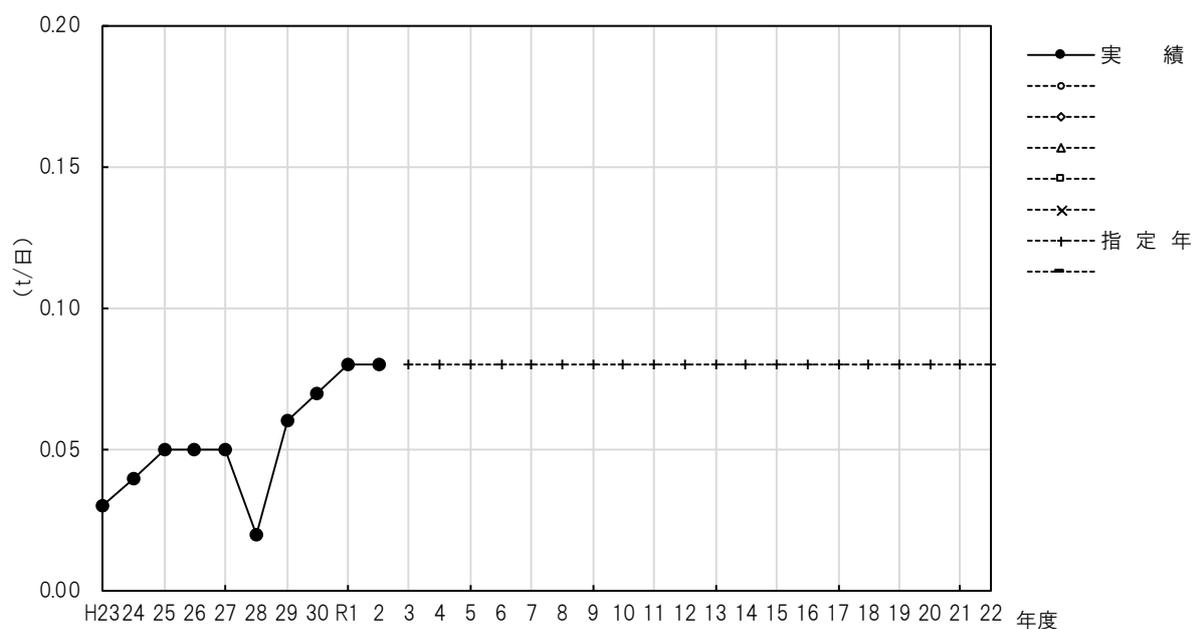
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
実績値	0.03	0.04	0.05	0.05	0.05
前年差	-	0.01	0.01		
前年比	-	1.33333	1.25000	1.00000	1.00000
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	0.02	0.06	0.07	0.08	0.08
前年差	-0.03	0.04	0.01	0.01	
前年比	0.40000	3.00000	1.16667	1.14286	1.00000
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

推計式及び推計結果

(t/日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
指 定 年	Y=0.08	0.08	○	-
-	-	-		-



事業系直接搬入ごみ(事業系直接搬入粗大ごみ) 1日平均排出量の推計結果

2. 生活排水

(1) 行政区域内人口及び生活排水処理形態別人口の将来見込

行政区域内人口の将来見込は、ごみと同一とした。

生活排水処理形態別人口については、各々の人口実績等を踏まえ、行政区域内人口と同様に過去の実績値を基にトレンド法により推計して将来見込とした。トレンド法の考え方は前出の図表 1-5 のとおりである。

農業集落排水施設は整備完了している。以下の方法のうち、将来人口が適切であると考えられる方法を選択した。

区分	概要
方法1	処理人口の実績値を基にトレンド法で推計して将来値とする。
方法2	処理区域人口と接続人口割合(接続率)の実績値を基にトレンド法で推計し、推計結果を乗じて将来値とする。

(2) し尿及び浄化槽汚泥量の将来見込

し尿及び浄化槽汚泥、集落排水施設汚泥の将来見込は、形態別人口の将来見込に、実績値を基にトレンド法により求めた1人1日平均排出量に乗じて求めた。トレンド法の考え方は前出の図表 1-5 のとおりである。

本町の生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥量の推計結果を図表 2-1 に示す。

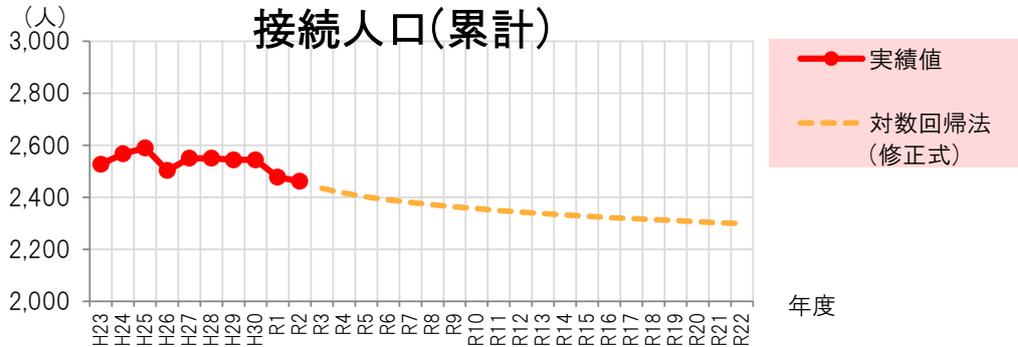
別紙1 公共下水道

1) 石見処理区

方法
1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	2,550	2,550	2,544	2,544	2,477	2,462
採用				○	○	○

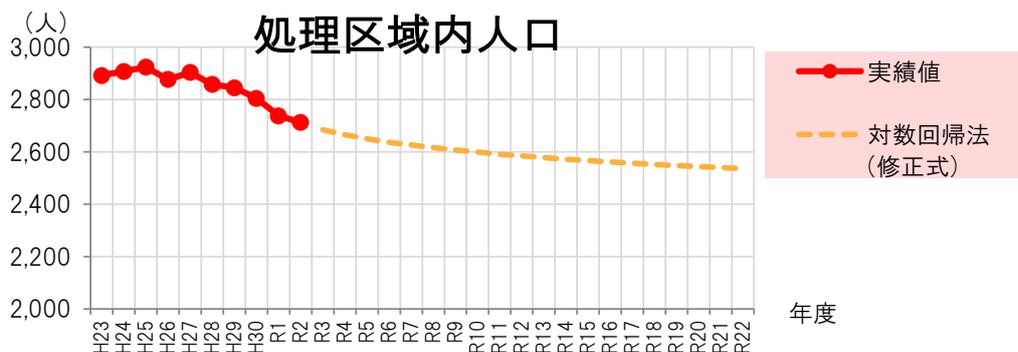
採用式： $Y = 2540.3 - 77 \times L_n$ (年度-29)



方法
2

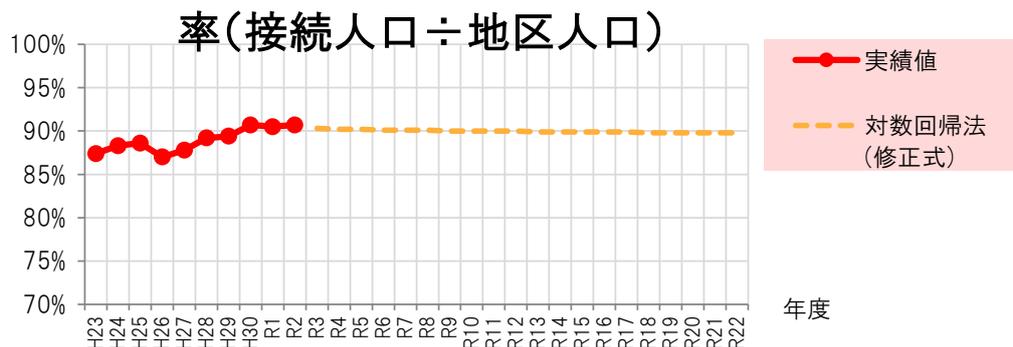
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	2,904	2,858	2,845	2,805	2,738	2,713
採用				○	○	○

採用式： $Y = 2802.8 - 85.1 \times L_n$ (年度-29)

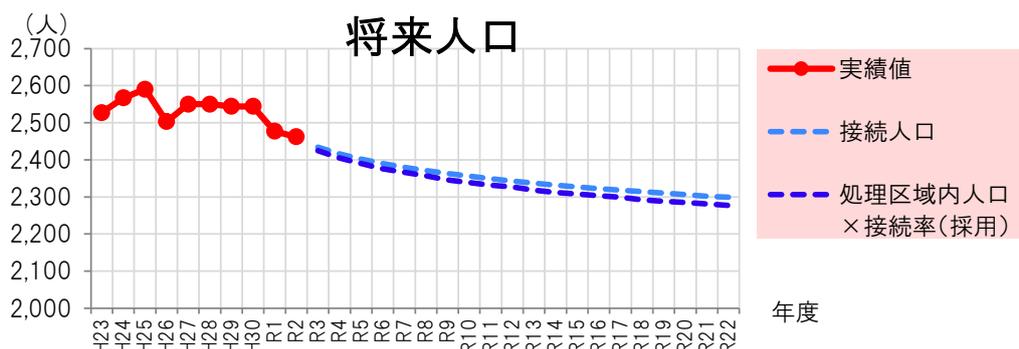


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	87.8%	89.2%	89.4%	90.7%	90.5%	90.7%
採用				○	○	○

採用式： $Y = 0.907 - 0.00289 \times L_n$ (年度-29)



採用



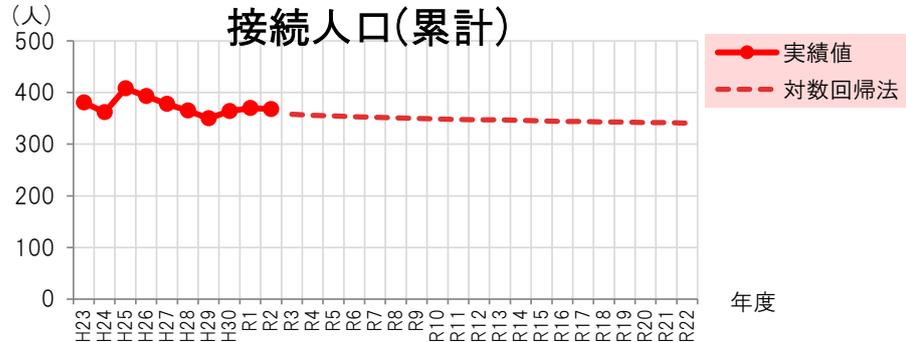
別紙2 農業集落排水施設人口

1) 口羽地区

方法1

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	378	365	350	364	370	368
採用	○	○	○	○	○	○

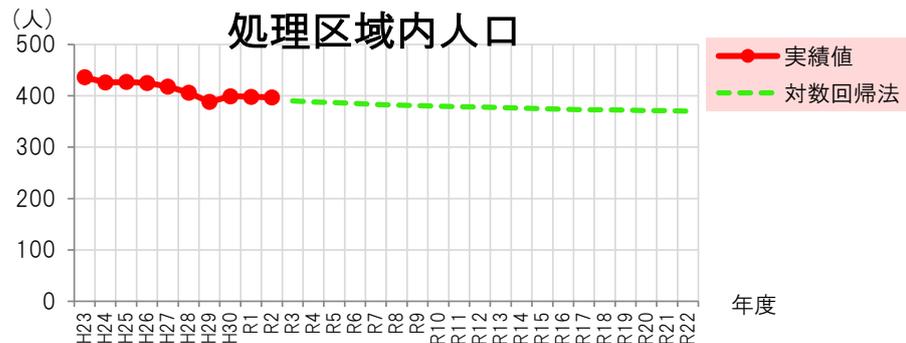
採用式： $Y = 386.5 - 13.8 \times L_n$ (年度-25)



方法2

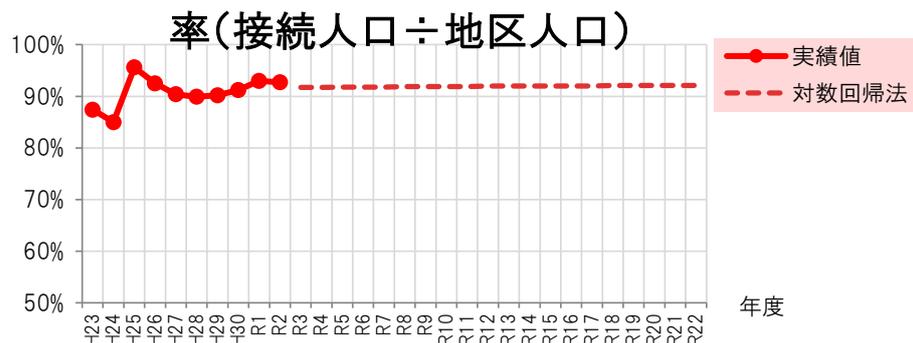
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	418	406	388	399	398	397
採用	○	○	○	○	○	○

採用式： $Y = 424.5 - 16.5 \times L_n$ (年度-25)

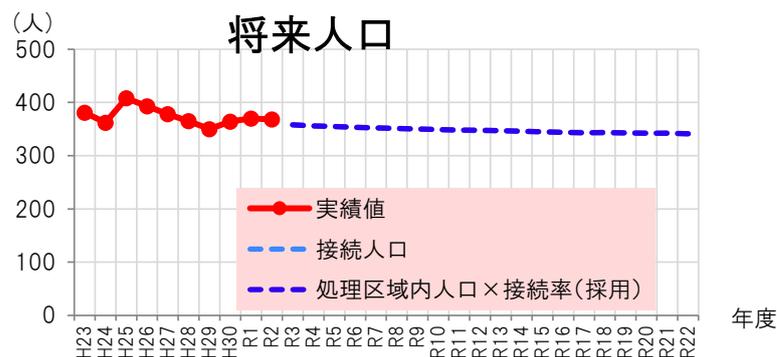


年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	90.4%	89.9%	90.2%	91.2%	93.0%	92.7%
採用	○	○	○	○	○	○

採用式： $Y = 0.91004 + 0.00337 \times L_n$ (年度-25)



採用

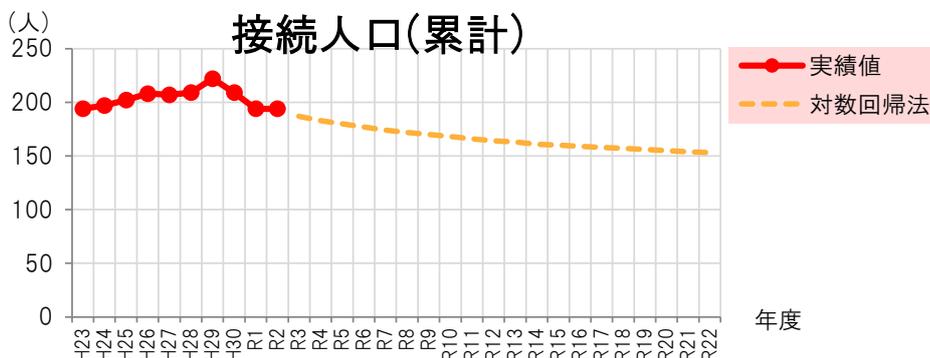


2) 阿須那地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	207	209	222	209	194	194
採用			○	○	○	○

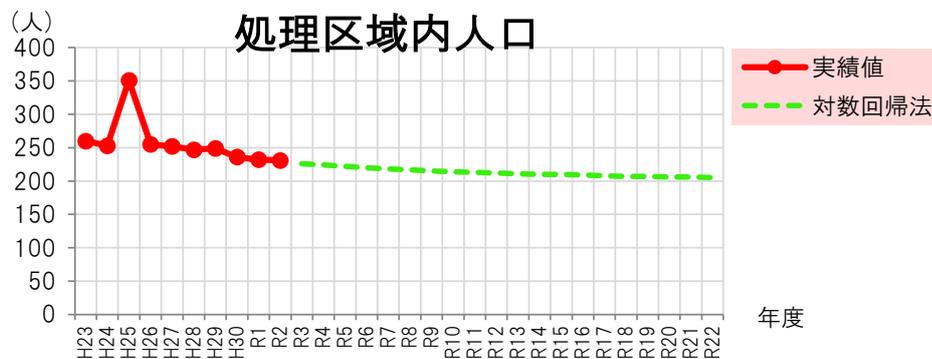
採用式 : $Y = 222.2 - 21.9 \times L_n$ (年度-28)



方法 2

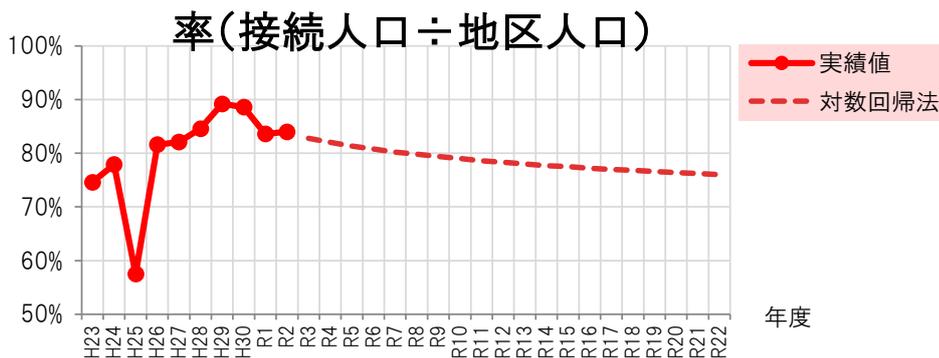
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	252	247	249	236	232	231
採用			○	○	○	○

採用式 : $Y = 247.6 - 13.4 \times L_n$ (年度-28)

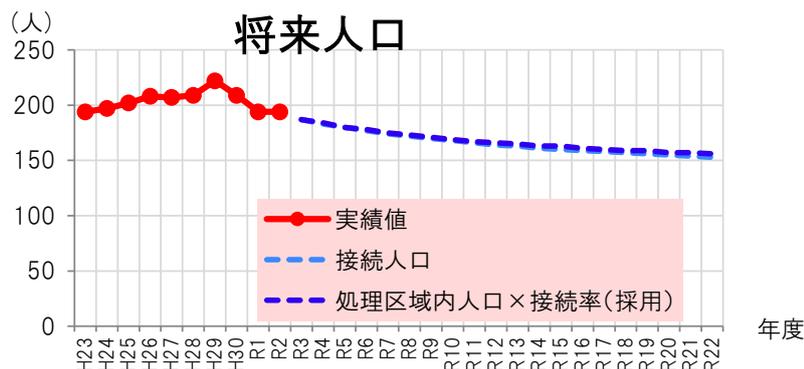


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	82.1%	84.6%	89.2%	88.6%	83.6%	84.0%
採用			○	○	○	○

採用式 : $Y = 0.89808 - 0.04353 \times L_n$ (年度-28)



採用

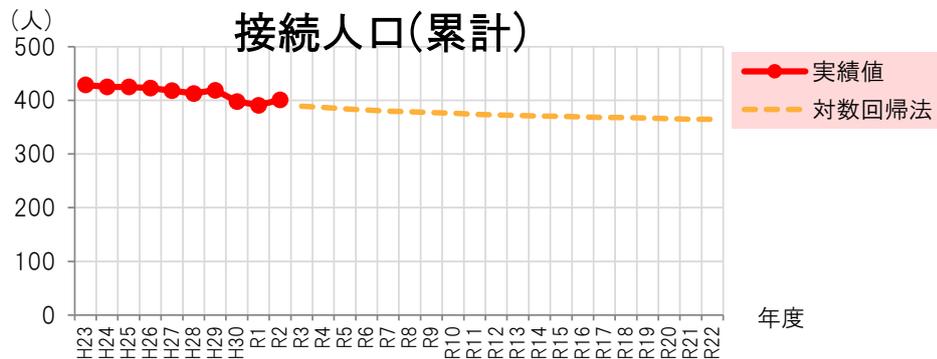


3) 田所地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	418	413	419	398	391	401
採用			○	○	○	○

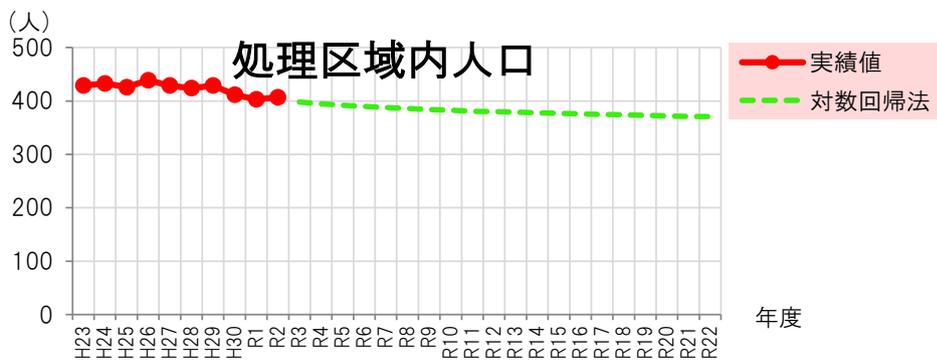
採用式： $Y = 414.7 - 15.7 \times L_n$ (年度-28)



方法 2

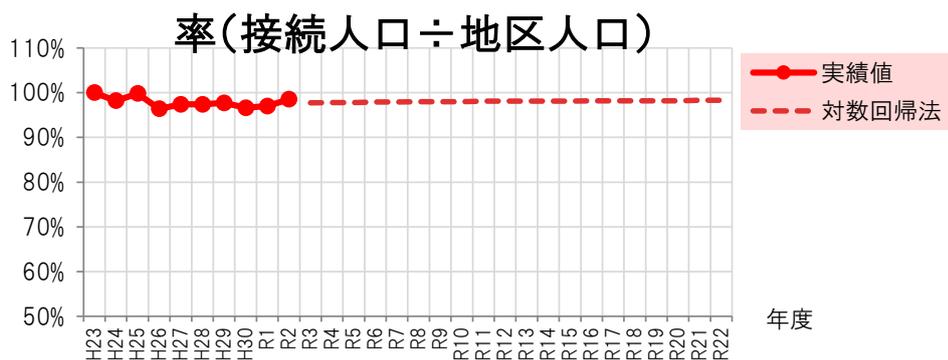
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	429	424	429	412	403	407
採用			○	○	○	○

採用式： $Y = 426.8 - 17.7 \times L_n$ (年度-28)

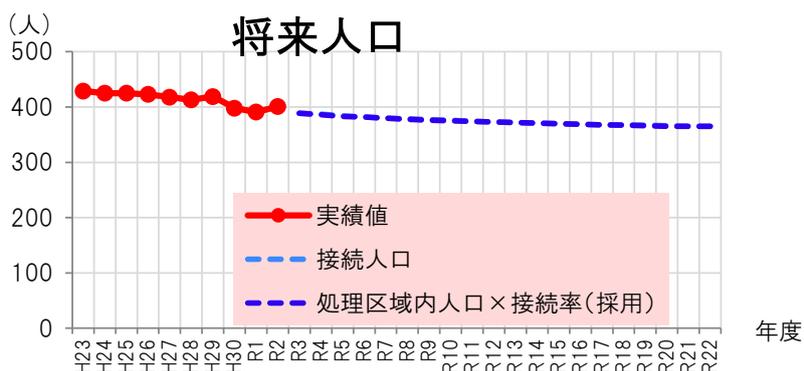


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	97.4%	97.4%	97.7%	96.6%	97.0%	98.5%
採用			○	○	○	○

採用式： $Y = 0.97177 + 0.00343 \times L_n$ (年度-28)



採用

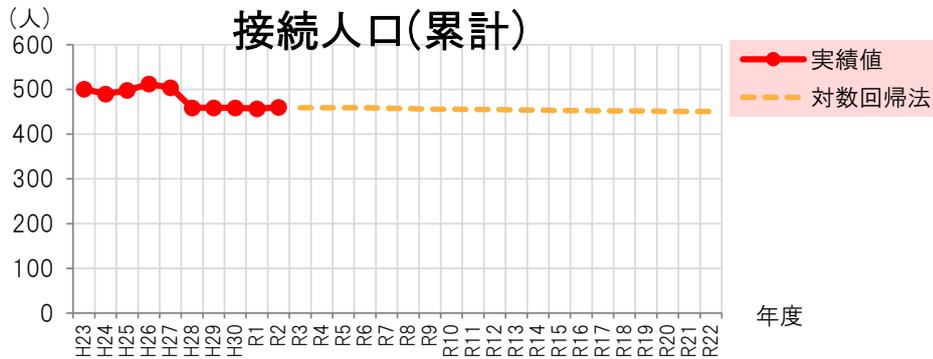


4) 出羽地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	504	459	459	459	457	460
採用		○	○	○	○	○

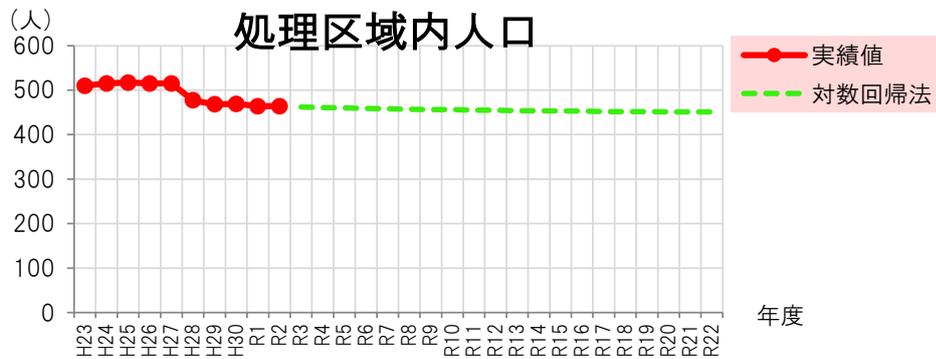
採用式： $Y = 458.9 - 0.1 \times L_n$ (年度-27)



方法 2

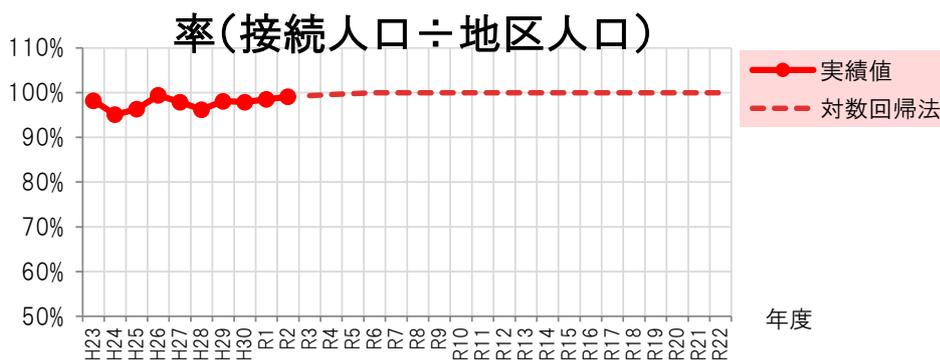
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	515	477	468	469	464	464
採用		○	○	○	○	○

採用式： $Y = 476.0 - 7.9 \times L_n$ (年度-27)

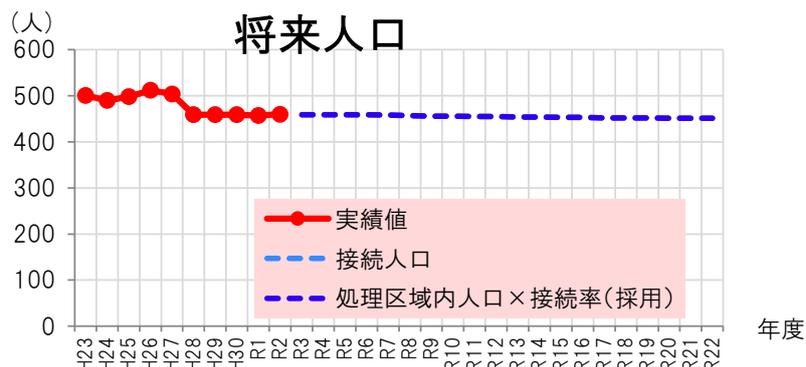


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	97.9%	96.2%	98.1%	97.9%	98.5%	99.1%
採用		○	○	○	○	○

採用式： $Y = 0.96410 + 0.01618 \times L_n$ (年度-27)



採用

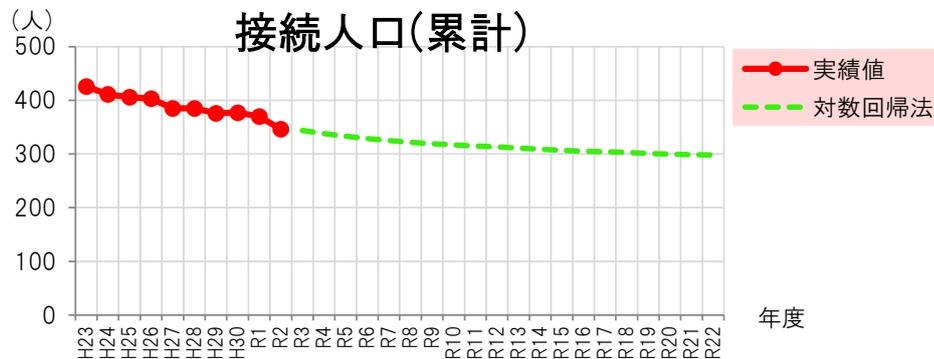


5) 高見地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	385	385	376	377	370	346
採用				○	○	○

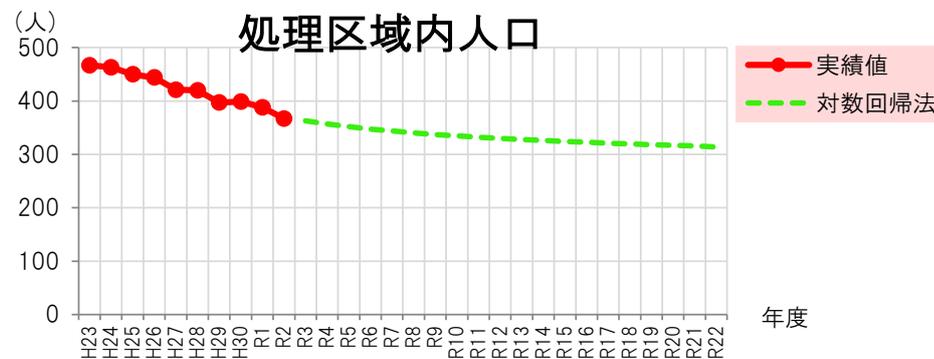
採用式： $Y = 380.0 - 26.3 \times L_n$ (年度-29)



方法 2

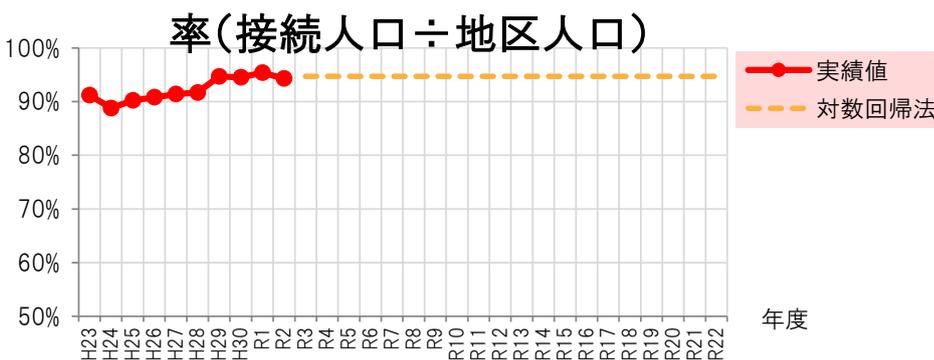
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	421	420	397	399	388	367
採用				○	○	○

採用式： $Y = 401.2 - 27.7 \times L_n$ (年度-29)

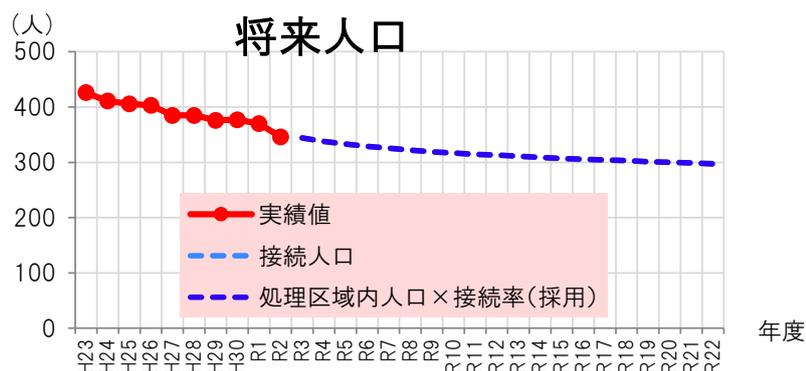


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	91.4%	91.7%	94.7%	94.5%	95.4%	94.3%
採用				○	○	○

採用式： $Y = 0.9474 - 0.00023 \times L_n$ (年度-29)



採用

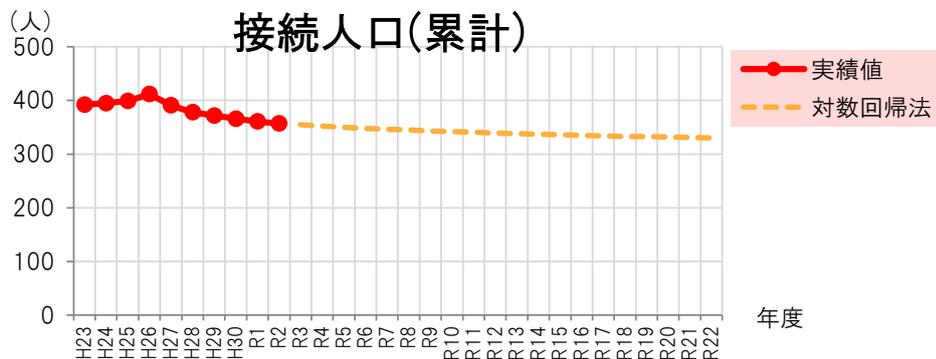


6) 市木地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	391	378	372	366	361	357
採用	○	○	○	○	○	○

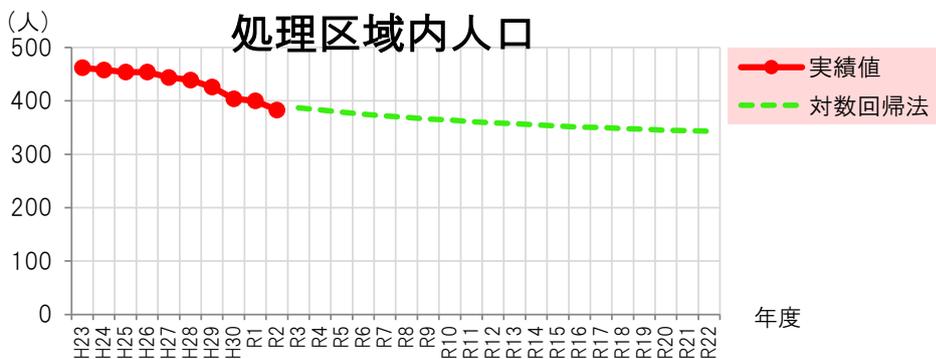
採用式： $Y = 391.3 - 18.7 \times L_n$ (年度-26)



方法 2

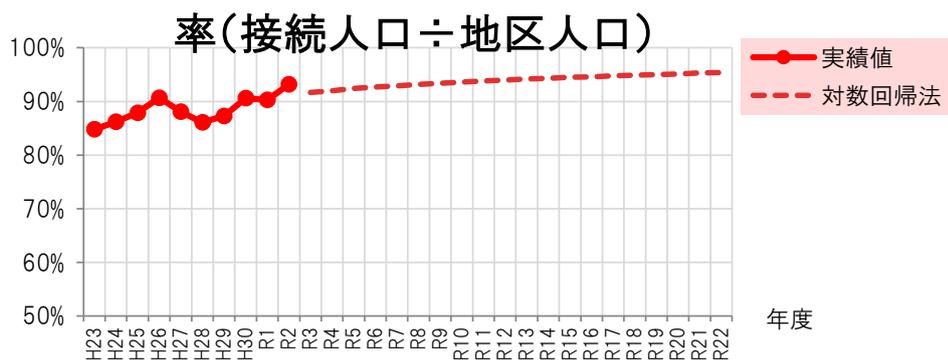
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	444	439	426	404	400	383
採用	○	○	○	○	○	○

採用式： $Y = 453.3 - 34.0 \times L_n$ (年度-26)

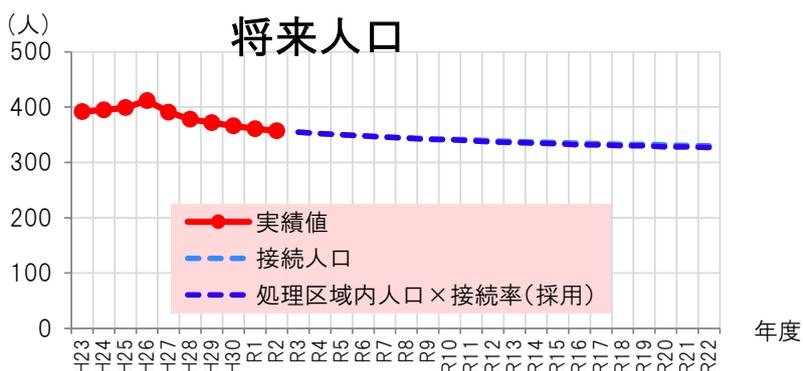


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	88.1%	86.1%	87.3%	90.6%	90.3%	93.2%
採用	○	○	○	○	○	○

採用式： $Y = 0.86168 + 0.02826 \times L_n$ (年度-26)



採用

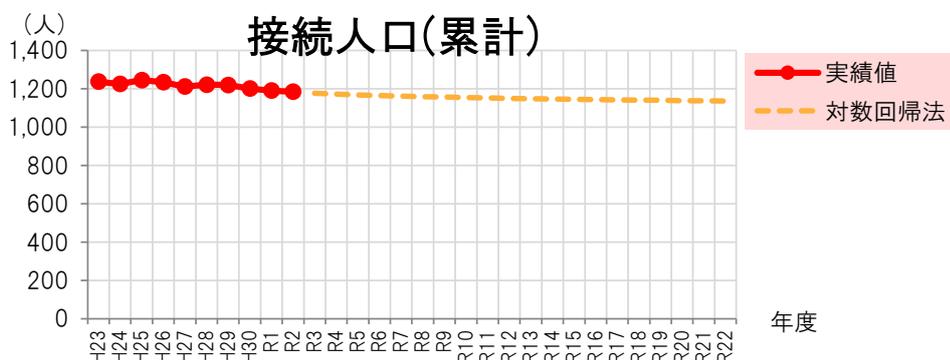


7) 瑞穂地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	1,212	1,222	1,221	1,202	1,191	1,185
採用			○	○	○	○

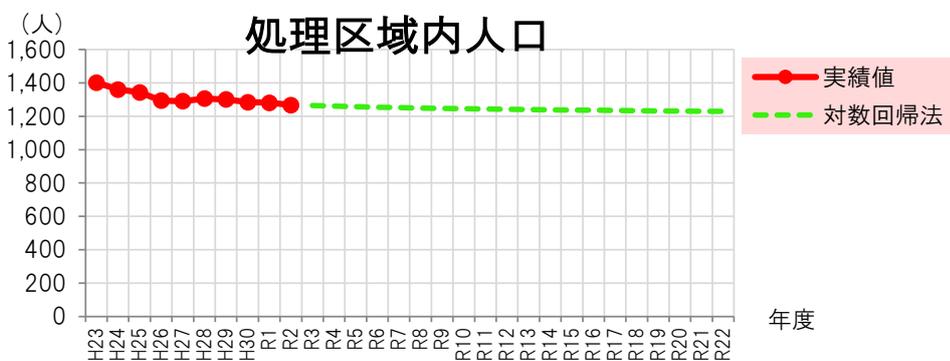
採用式： $Y = 1220.6 - 26.3 \times L_n$ (年度-28)



方法 2

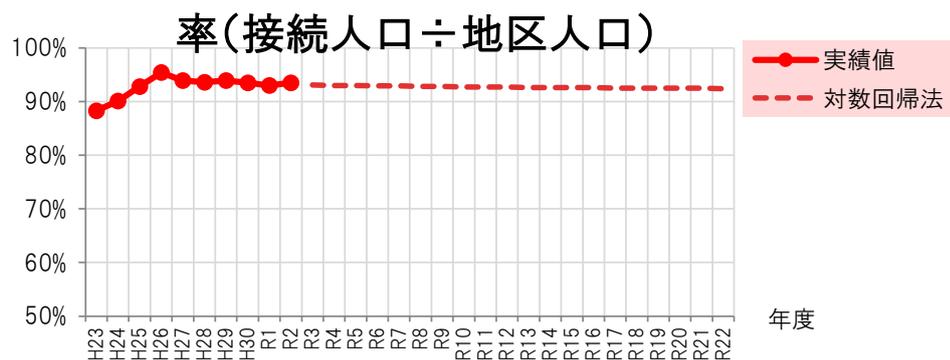
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	1,291	1,306	1,301	1,285	1,281	1,267
採用			○	○	○	○

採用式： $Y = 1301.5 - 22.7 \times L_n$ (年度-28)

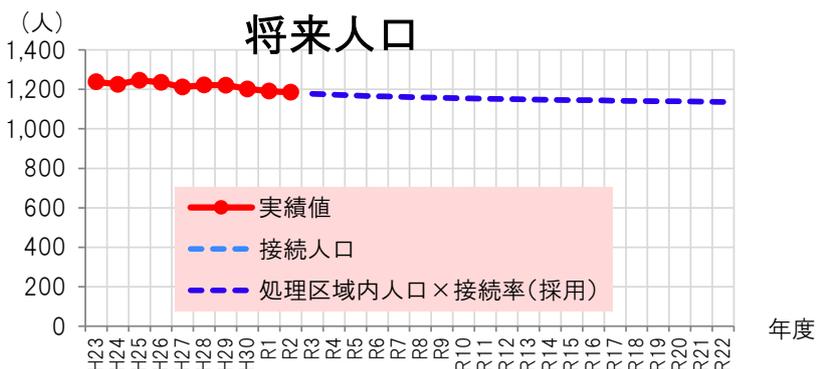


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	93.9%	93.6%	93.9%	93.5%	93.0%	93.5%
採用			○	○	○	○

採用式： $Y = 0.93819 - 0.00433 \times L_n$ (年度-28)



採用

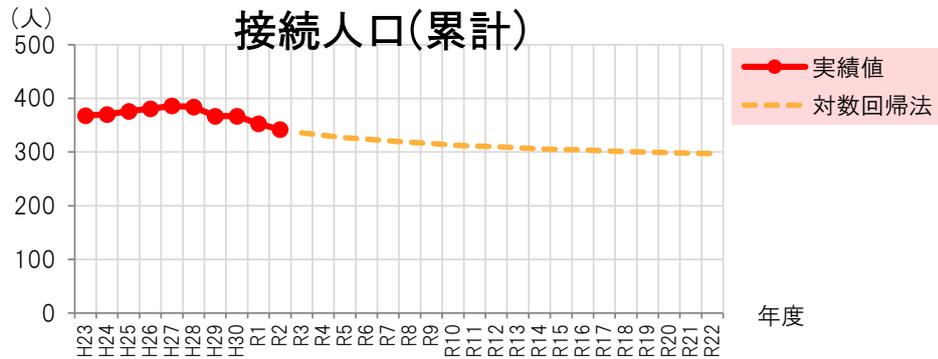


8) 日和地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	386	384	367	367	353	342
採用				○	○	○

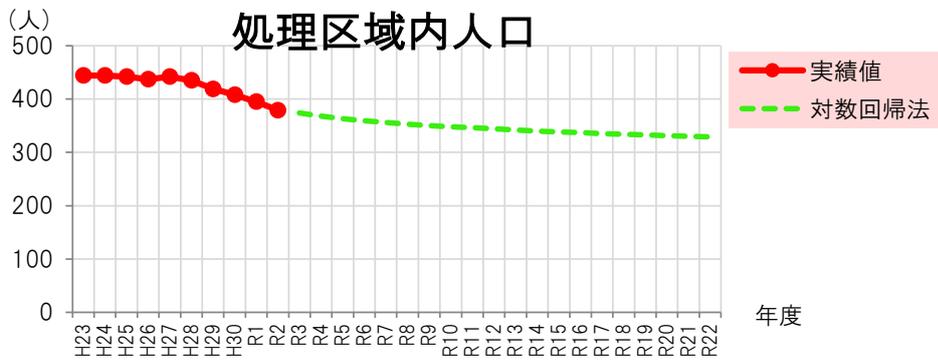
採用式： $Y = 367.4 - 22.5 \times L_n$ (年度-29)



方法 2

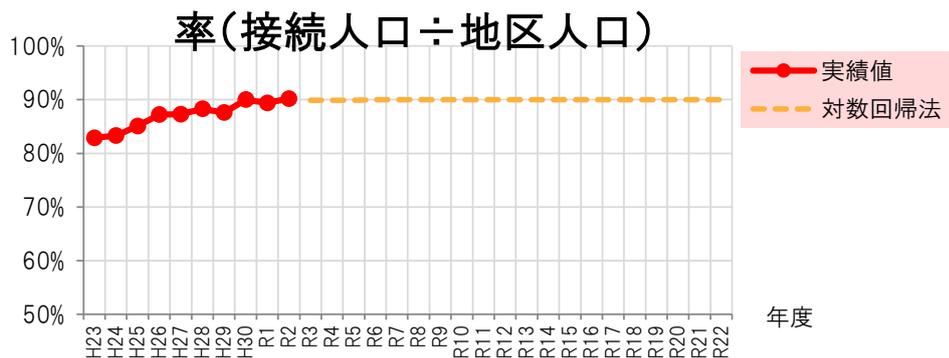
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	442	435	419	408	395	379
採用				○	○	○

採用式： $Y = 409.3 - 25.6 \times L_n$ (年度-29)

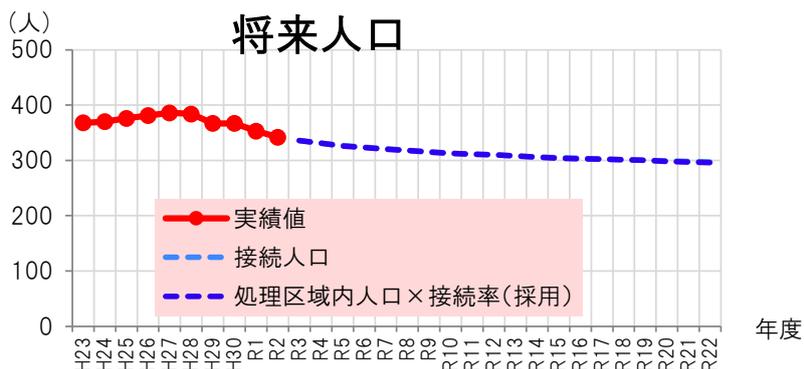


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	87.3%	88.3%	87.6%	90.0%	89.4%	90.2%
採用				○	○	○

採用式： $Y = 0.89825 + 0.00069 \times L_n$ (年度-29)



採用

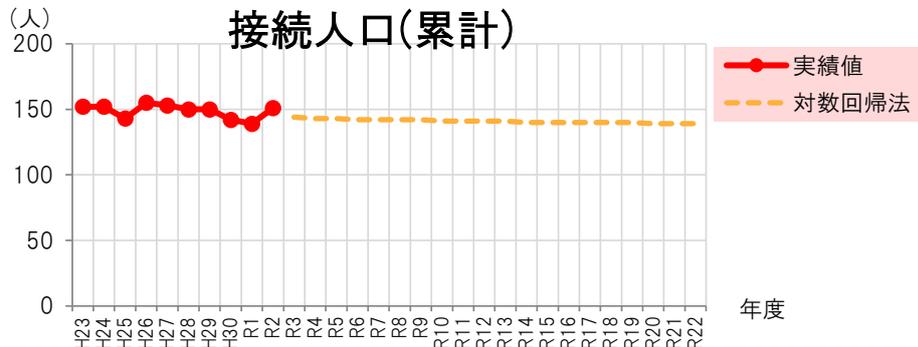


9) 日貫地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	153	150	150	142	139	151
採用		○	○	○	○	○

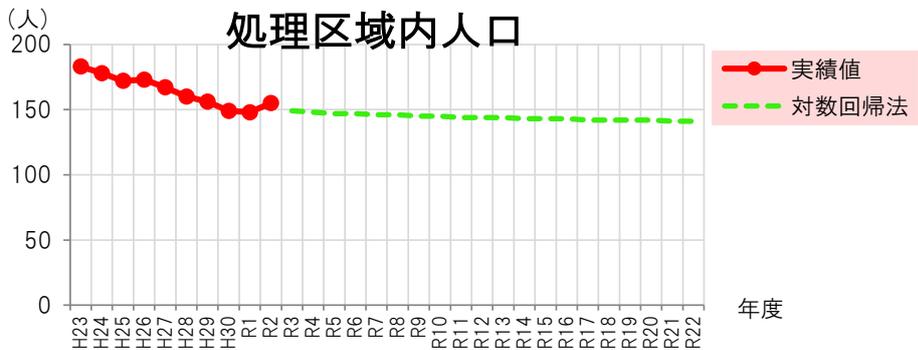
採用式： $Y = 149.5 - 3.2 \times L_n$ (年度-27)



方法 2

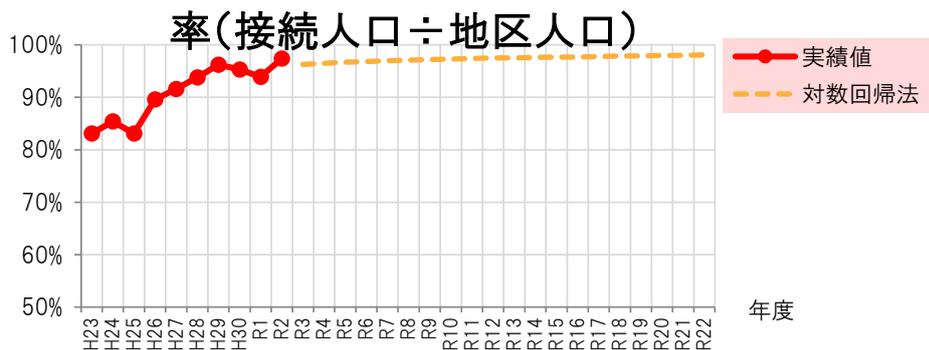
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	167	160	156	149	148	155
採用		○	○	○	○	○

採用式： $Y = 158.9 - 5.5 \times L_n$ (年度-27)

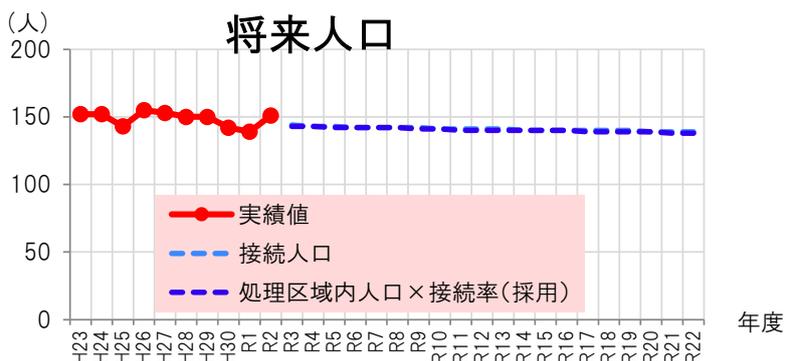


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	91.6%	93.8%	96.2%	95.3%	93.9%	97.4%
採用		○	○	○	○	○

採用式： $Y = 0.94154 + 0.01218 \times L_n$ (年度-27)



採用



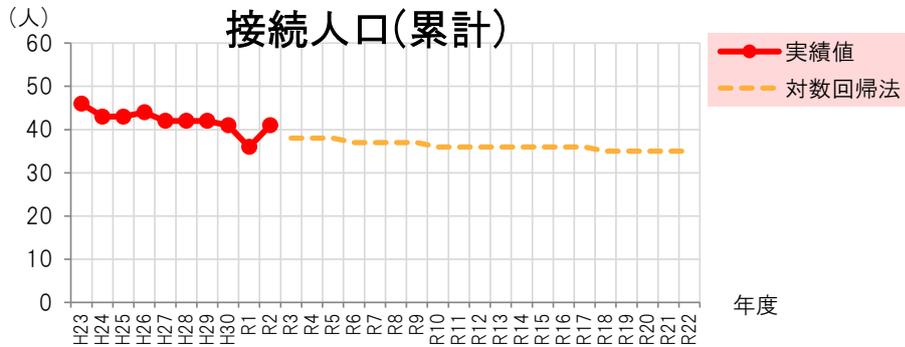
別紙3 小規模集合排水施設人口

1) 大原地区

方法1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	42	42	42	41	36	41
採用			○	○	○	○

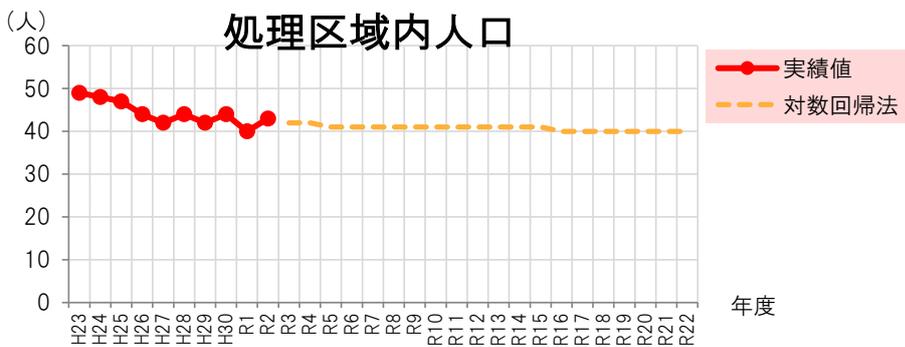
採用式： $Y = 41.7 - 2.1 \times L_n$ (年度-28)



方法2

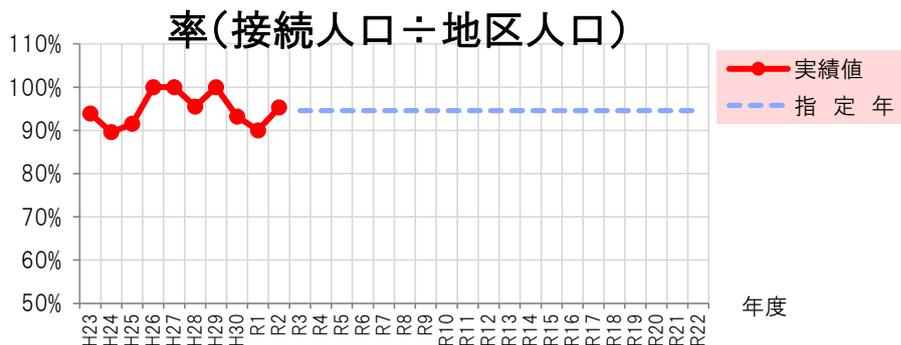
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	42	44	42	44	40	43
採用		○	○	○	○	○

採用式： $Y = 43.7 - 1.1 \times L_n$ (年度-27)

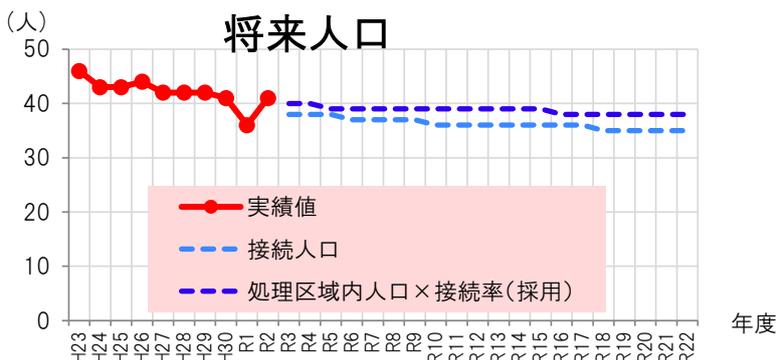


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	100.0%	95.5%	100.0%	93.2%	90.0%	95.3%
採用			○	○	○	○

採用式： $Y = 0.946$



採用

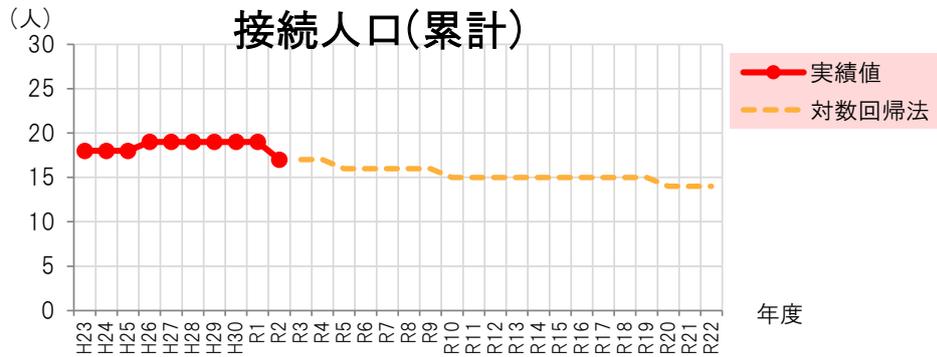


2) 百石地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	19	19	19	19	19	17
採用				○	○	○

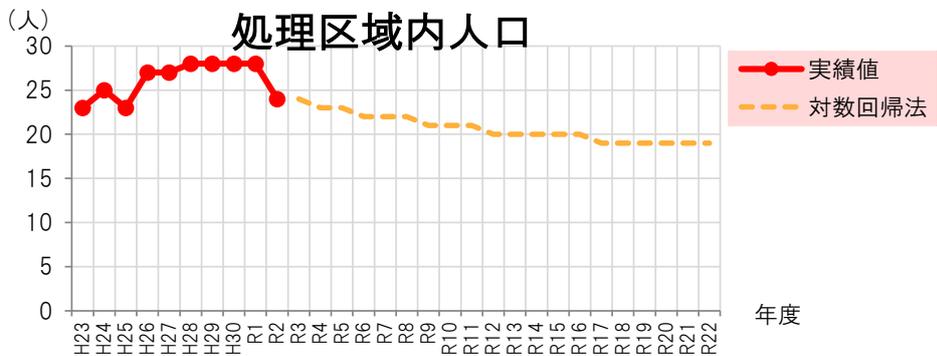
採用式： $Y = 19.3 - 1.6 \times L_n$ (年度-29)



方法 2

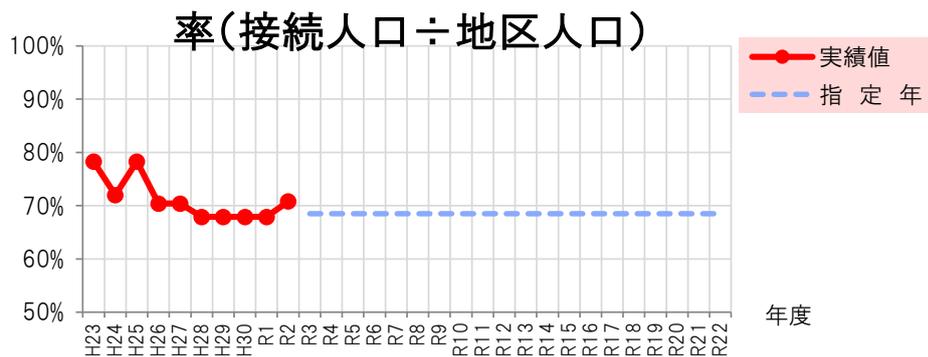
年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	27	28	28	28	28	24
採用				○	○	○

採用式： $Y = 28.6 - 3.2 \times L_n$ (年度-29)

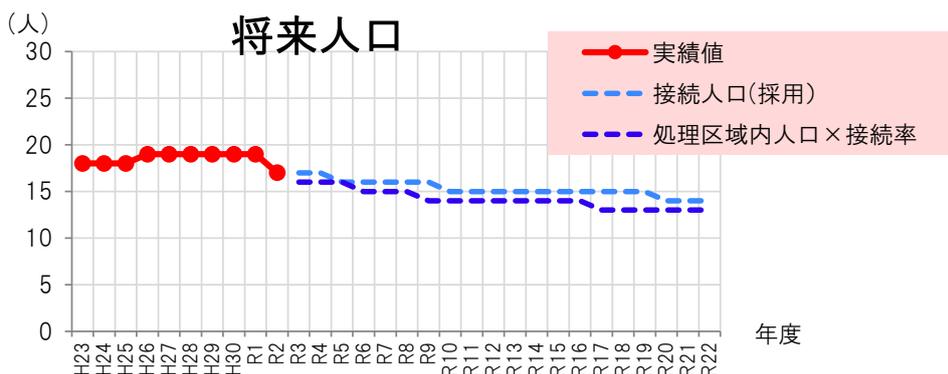


年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	70.4%	67.9%	67.9%	67.9%	67.9%	70.8%
採用		○	○	○	○	○

採用式： $Y = 0.685$



採用

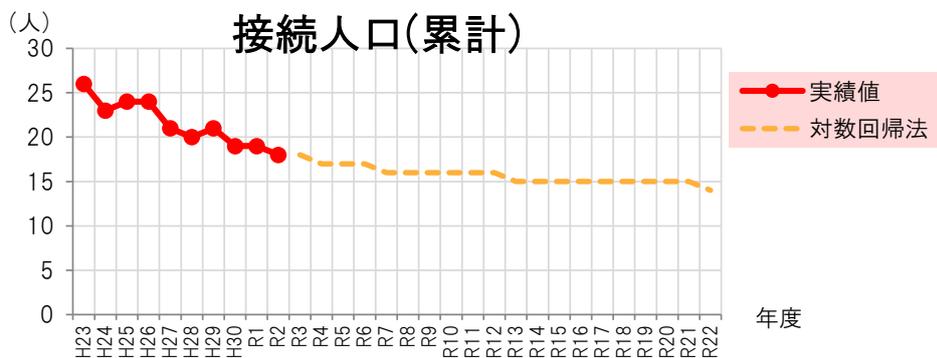


3) 中野原地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	21	20	21	19	19	18
採用			○	○	○	○

採用式： $Y = 20.8 - 2.0 \times L_n$ (年度-28)



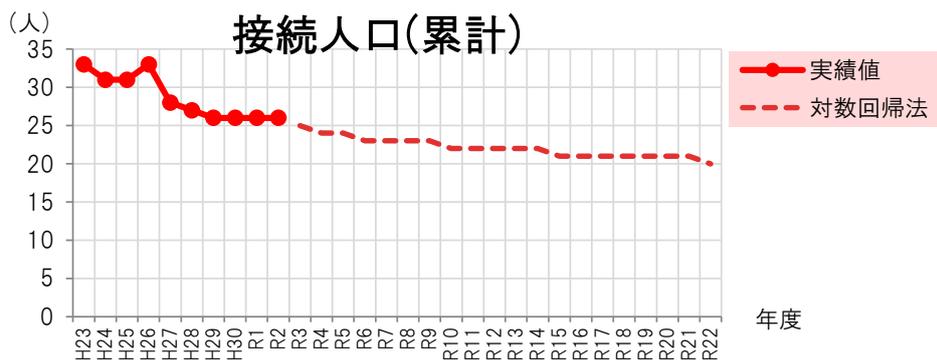
※接続人口＝処理区域内人口であり、接続人口の推計値を採用した。

4) 八色石地区

方法 1

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	28	27	26	26	26	26
採用	○	○	○	○	○	○

採用式： $Y = 31.6 - 3.4 \times L_n$ (年度-25)



※接続人口＝処理区域内人口であり、接続人口の推計値を採用した。

別紙4 補助合併処理浄化槽人口

補助事業合併処理浄化槽人口の将来見込については、実際に使用している将来人口とするため、以下により推計した。

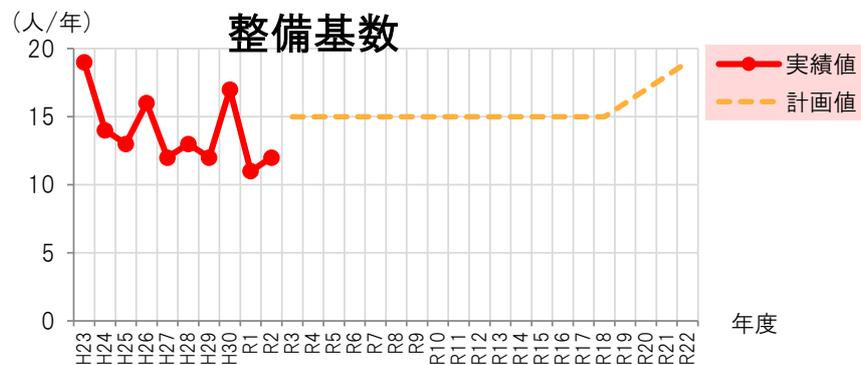
手順	区分	算定方法等
1	整備基数の設定	担当課による計画値 計画基数 / 15基/年(R3以降)
2	1基あたり人口の算定	実績値(整備人口 ÷ 設置基数)を基にトレンド法により推計
3	整備人口の算定	設置基数 × 1基あたり人口
4	整備人口(累計)	整備人口を順次合計
5	人口率の算定	実績値(浄化槽人口実績 ÷ 整備人口(累計)実績値)を基にトレンド法により推計
6	将来浄化槽人口の算定	整備人口(累計) × 人口率

実績値

◆補助事業合併処理浄化槽

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
補助事業合併処理浄化槽人口 (A)	人	2,553	2,673	2,712	2,696	2,673	2,648	2,606	2,596	2,480	2,430
整備基数	基/年	19	14	13	16	12	13	12	17	11	12
	整備基数(累計) 基	1,070	1,084	1,097	1,113	1,125	1,138	1,150	1,167	1,178	1,190
	整備人口 人/年	39	27	33	36	27	36	6	37	34	12
	1基あたり人口 人/基	2.05	1.93	2.54	2.25	2.25	2.77	0.50	2.18	3.09	1.00
	整備人口(累計) (B) 人	3,045	3,072	3,105	3,141	3,168	3,204	3,210	3,247	3,281	3,293
	率(A ÷ B) (C)		83.8%	87.0%	87.3%	85.8%	84.4%	82.6%	81.2%	80.0%	75.6%
	B × C		2,552	2,673	2,711	2,695	2,674	2,607	2,598	2,480	2,430
	推計値 人	2,553	2,673	2,712	2,696	2,673	2,648	2,606	2,596	2,480	2,430

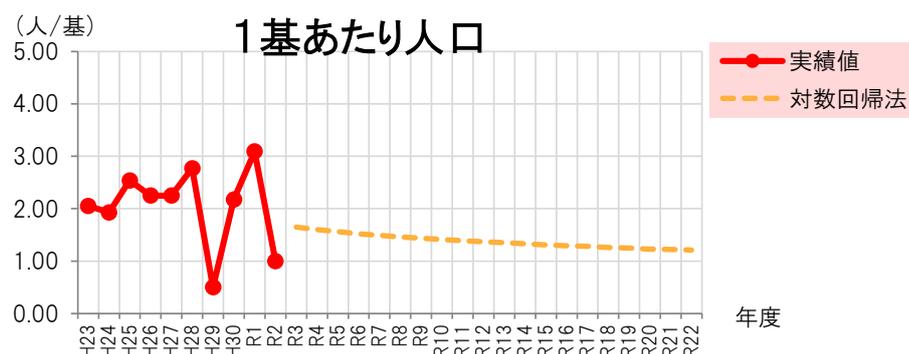
手順
1



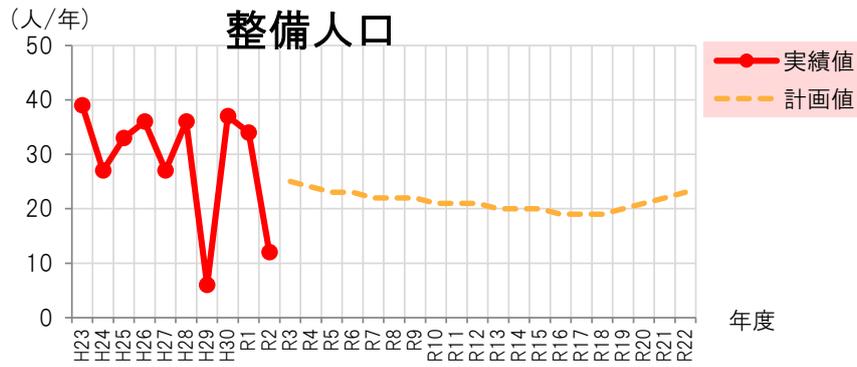
手順
2

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	2.05	1.93	2.54	2.25	2.25	2.77	0.50	2.18	3.09	1.00
採用						○	○	○	○	○

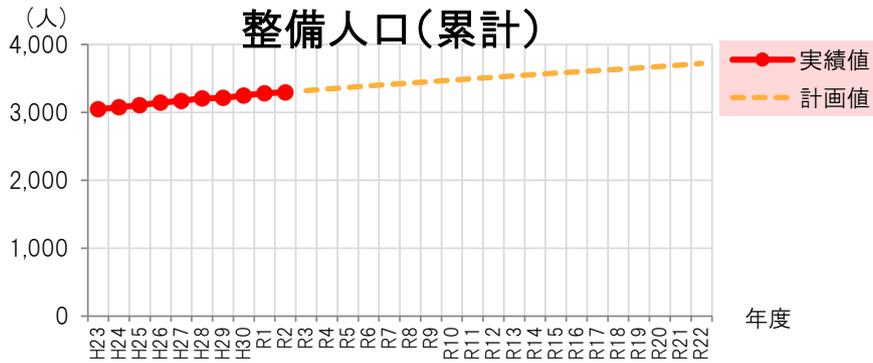
採用式: $Y = 2.203 - 0.309 \times \ln(\text{年度} - 27)$



手順 3



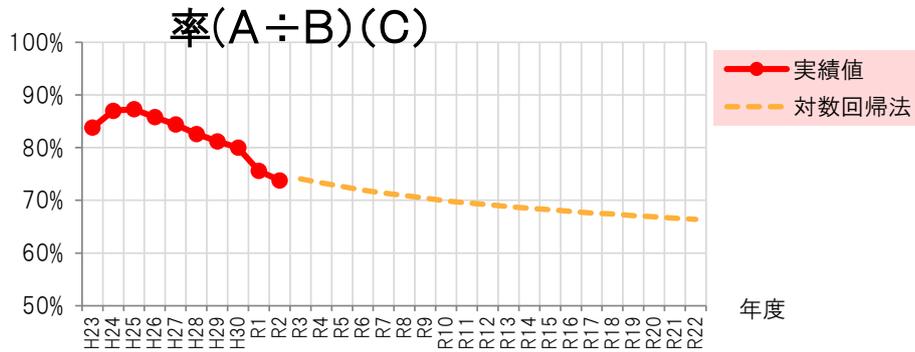
手順 4



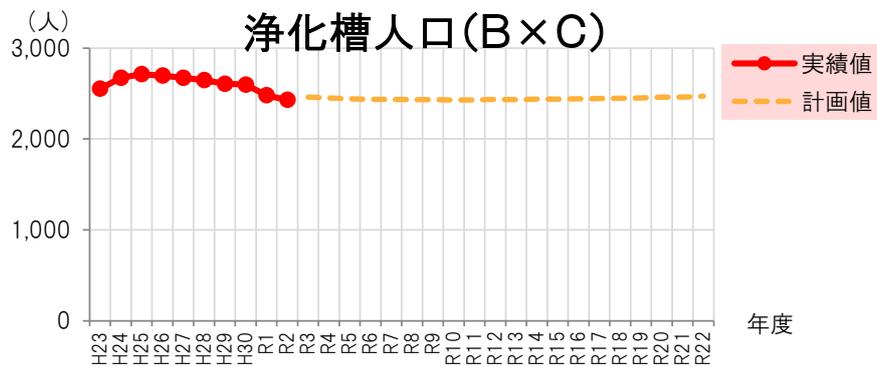
手順 5

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	83.8%	87.0%	87.3%	85.8%	84.4%	82.6%	81.2%	80.0%	75.6%	73.8%
採用							○	○	○	○

採用式： $Y=0.83817-0.05407 \times L_n$ (年度-27)



手順 6



推計表

◆補助事業合併処理浄化槽

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
補助事業合併処理浄化槽人口(A)	人	2,459	2,450	2,443	2,436	2,435	2,433	2,432	2,429	2,430	2,434	2,433	2,437	2,440	2,442	2,444	2,449	2,452	2,459	2,462	2,470
整備基数	基/年	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	17	18	19
整備基数(累計)	基	1,205	1,220	1,235	1,250	1,265	1,280	1,295	1,310	1,325	1,340	1,355	1,370	1,385	1,400	1,415	1,430	1,446	1,463	1,481	1,500
整備人口	人/年	25	24	23	23	22	22	22	21	21	21	20	20	20	19	19	19	20	21	22	23
1基あたり人口	人/基	1.65	1.60	1.56	1.52	1.49	1.46	1.44	1.41	1.39	1.37	1.35	1.33	1.31	1.29	1.28	1.26	1.25	1.23	1.22	1.21
整備人口(累計)	人	3,318	3,342	3,365	3,388	3,410	3,432	3,454	3,475	3,496	3,517	3,537	3,557	3,577	3,596	3,615	3,634	3,654	3,675	3,697	3,720
率(A÷B)(C)		74.1%	73.3%	72.6%	71.9%	71.4%	70.9%	70.4%	69.9%	69.5%	69.2%	68.8%	68.5%	68.2%	67.9%	67.6%	67.4%	67.1%	66.9%	66.6%	66.4%
B×C		2,459	2,450	2,443	2,436	2,435	2,433	2,432	2,429	2,430	2,434	2,433	2,437	2,440	2,442	2,444	2,449	2,452	2,459	2,462	2,470
推計値	人	2,375	2,352	2,329	2,306	2,283	2,259	2,236	2,213	2,190	2,167	2,143	2,120	2,097	2,074	2,051	2,027	2,004	1,981	1,958	1,935

◆資料1 し尿原単位の推計結果【邑南町】

し尿原単位の実績

(L/人日)

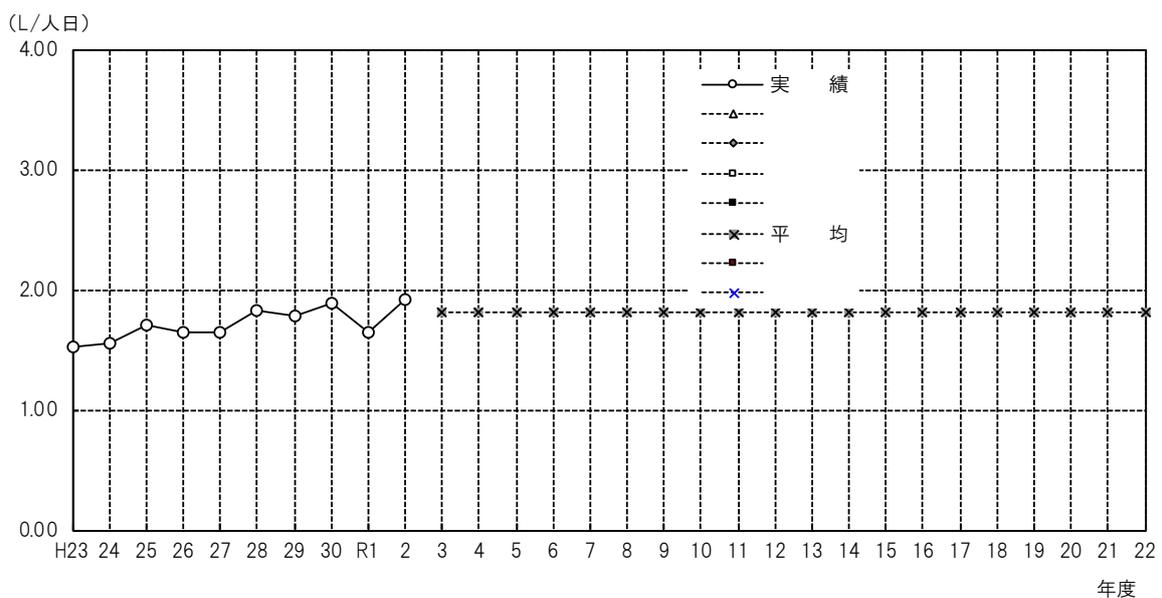
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
し尿原単位	1.53	1.56	1.71	1.64	1.65
前年差	-	0.03	0.15	-0.07	0.01
前年比	-	1.01961	1.09615	0.95906	1.00610
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
し尿原単位	1.83	1.78	1.89	1.64	1.91
前年差	-	-0.05	0.11	-0.25	0.27
前年比	-	0.97268	1.06180	0.86772	1.16463
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(L/人日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
平 均	Y=1.81	1.81	○	-
-	-	-		-
-	-	-		-



し尿原単位の推計結果

◆資料2 浄化槽汚泥原単位の推計結果【邑南町】

浄化槽汚泥原単位の実績

(L/人日)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
浄化槽汚泥原単位	2.63	2.42	2.43	2.59	2.65
前年差	-	-0.21	0.01	0.16	0.06
前年比	-	0.92015	1.00413	1.06584	1.02317
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

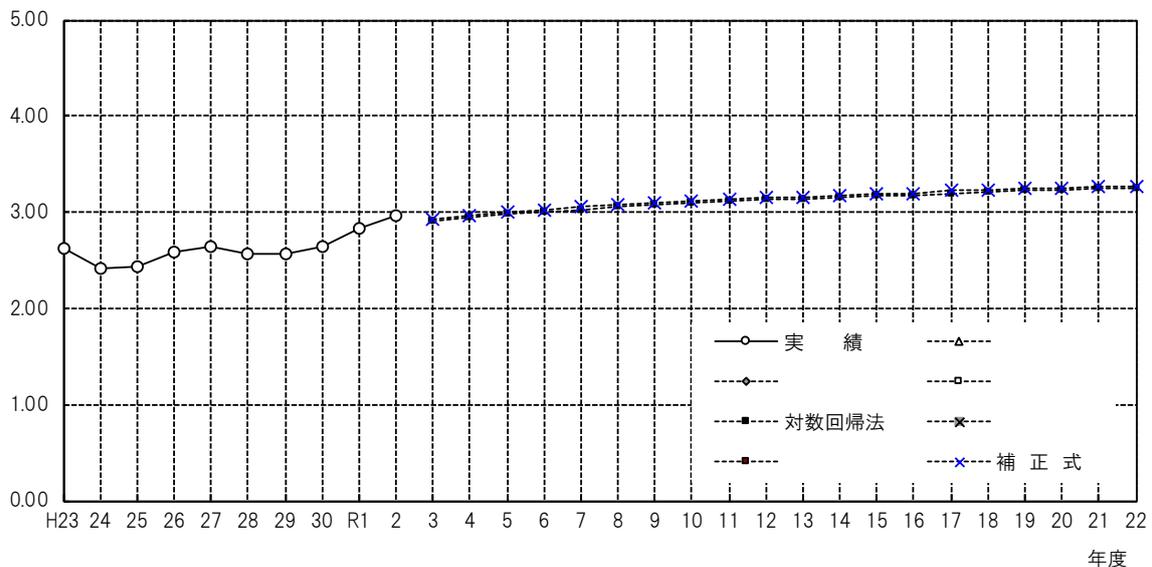
年 度	H28	H29	H30	R1	R2
浄化槽汚泥原単位	2.57	2.56	2.64	2.84	2.96
前年差	-	-0.01	0.08	0.20	0.12
前年比	-	0.99611	1.03125	1.07576	1.04225
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(L/人日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y=2.487+0.237 \times \ln(\text{平成年度}-27)$	3.14	○	0.8498782
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y=2.487+0.237 \times \ln(\text{平成年度}-27)+0.02$	3.16	◎	-

(L/人日)



浄化槽汚泥原単位の推計結果

◆資料3 農業集落排水施設汚泥(志谷苑処理)原単位の推計結果【邑南町】

農業集落排水施設汚泥(志谷苑処理)原単位 の実績

(L/人日)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
農業集落排水施設汚泥(志谷苑処理)原単位	0.69	0.82	0.83	0.78	0.78
前年差	-	0.13	0.01	-0.05	
前年比	-	1.18841	1.01220	0.93976	1.00000
採用データ	不採用	○	○	○	○

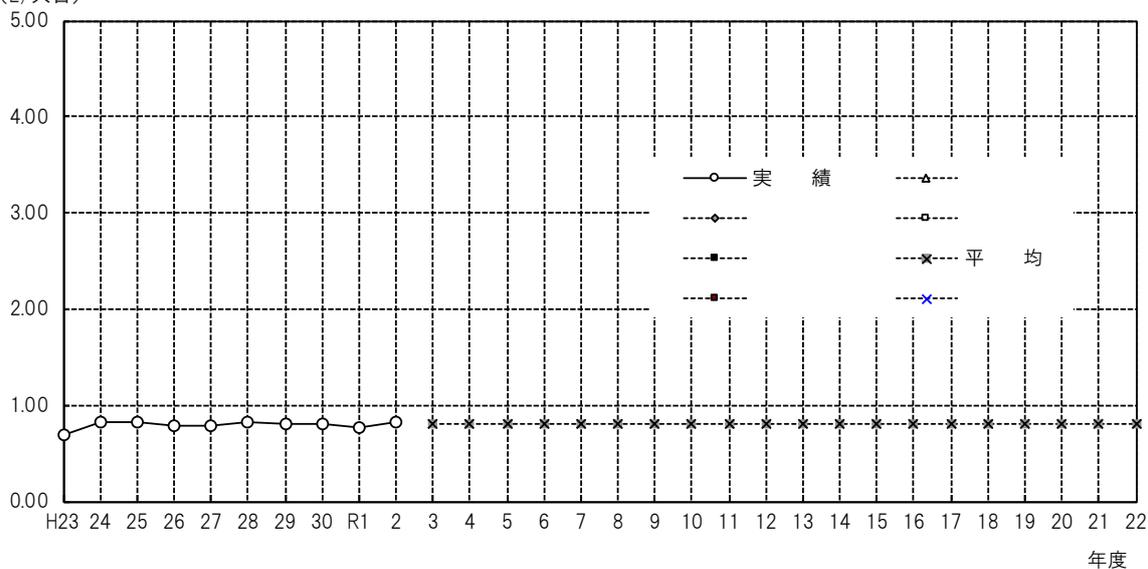
年 度	H28	H29	H30	R1	R2
農業集落排水施設汚泥(志谷苑処理)原単位	0.82	0.81	0.80	0.77	0.82
前年差	-	-0.01	-0.01	-0.03	0.05
前年比	-	0.98780	0.98765	0.96250	1.06494
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(L/人日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
平 均	Y=0.80	0.80	○	-
-	-	-		-
-	-	-		-

(L/人日)



農業集落排水施設汚泥(志谷苑処理)原単位の推計結果

◆資料4 農業集落排水施設汚泥(その他)原単位の推計結果【邑南町】

農業集落排水施設汚泥(その他)原単位 の実績

(L/人日)

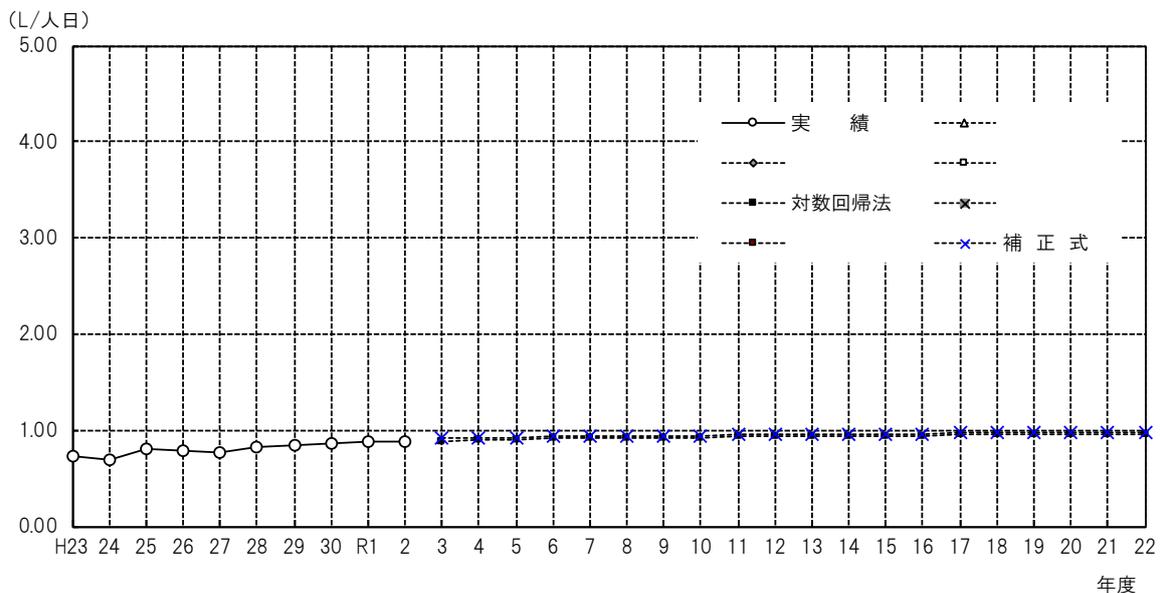
年 度	H23	H24	H25	H26	H27
農業集落排水施設汚泥(その他)原単位	0.72	0.69	0.80	0.78	0.77
前年差	-	-0.03	0.11	-0.02	-0.01
前年比	-	0.95833	1.15942	0.97500	0.98718
採用データ	不採用	○	○	○	○

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
農業集落排水施設汚泥(その他)原単位	0.82	0.84	0.86	0.89	0.88
前年差	-	0.02	0.02	0.03	-0.01
前年比	-	1.02439	1.02381	1.03488	0.98876
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(L/人日)

推計方法	推計式	R13	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y=0.772+0.056 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-25)$	0.93	○	0.9583486
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y=0.772+0.056 \times \text{Ln}(\text{平成年度}-25)+0.02$	0.95	◎	-



農業集落排水施設汚泥(その他)原単位の推計結果